Pioneer sound.vision.soul

DVD プレーヤー

DV-600A

DVD ビデオのリージョン番号

DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには発売地域ごとにリージョンNo.(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVDビデオディスクは、リージョンNo.の違いにより再生できない場合があります。本機のリージョンNo.は「2」です。

再生できるDVDビデオディスクのリージョン表示の例: など

DVDレコーダーをお持ちのお客様へ

ファイナライズしてから再生してください

DVDレコーダー　　本機

DVD-R/-RW ディスク

※DVDレコーダーでビデオモード記録したDVD-R/-RWディスクを本機で再生するときは、ファイナライズ (録画終了処理) してください。

インターネットによる登録のお願い

http://www3.pioneer.co.jp/

お買い上げの製品について、上記URL「お客様のページ」でお客様登録をお願いします。

この「お客様のページ」は、お客様とのコミュニケーションを目的としたウェブサイトです。新規登録されたお客様にはID・パスワードを発行させていただき、新製品のカタログや取扱説明書のダウンロード、メールマガジンの購読など各種サービスをご利用いただけます。

取扱説明書

このたびは、パイオニアの製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。本機の性能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。なお、「取扱説明書」「安全上のご注意」は、「保証書」「ご相談窓口・修理窓口のご案内」と一緒に必ず保管してください。

安全上のご注意（絵表示について）

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告［異常時の処理］

プラグを抜く

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

プラグを抜く

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

プラグを抜く

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

もくじ

さっそくDVDを見ましょう！........ 4

ポイント①: すぐに使いたい！
「何から始めたら良いかわからない!」、「とりあえず早くDVDを見たい!」というときご覧ください。

ポイント②: 困った！
項目ごとにQ＆Aがあります。「なぜ?」「どうして?」というとき参考にしてください。

こんなこともできます 13

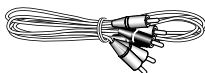
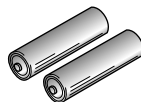
ポイント①: 簡単検索！
P.13-15では、本機のいろいろな使いかたや機能を一覧でのせています。もくじとしてお使いください。

ポイント②: もっと使いたい！
「こんなことがしたい！」「こんなことはできる?」と思われたときにご覧ください。

さっそくDVDを見ましょう！

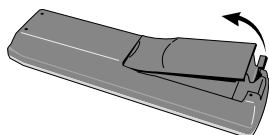
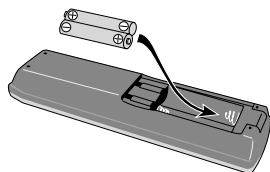
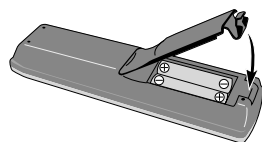
1 付属品の確認をしましょう

リモコン

オーディオ・ビデオコード

単3形乾電池(R6P・2本)

電源コード

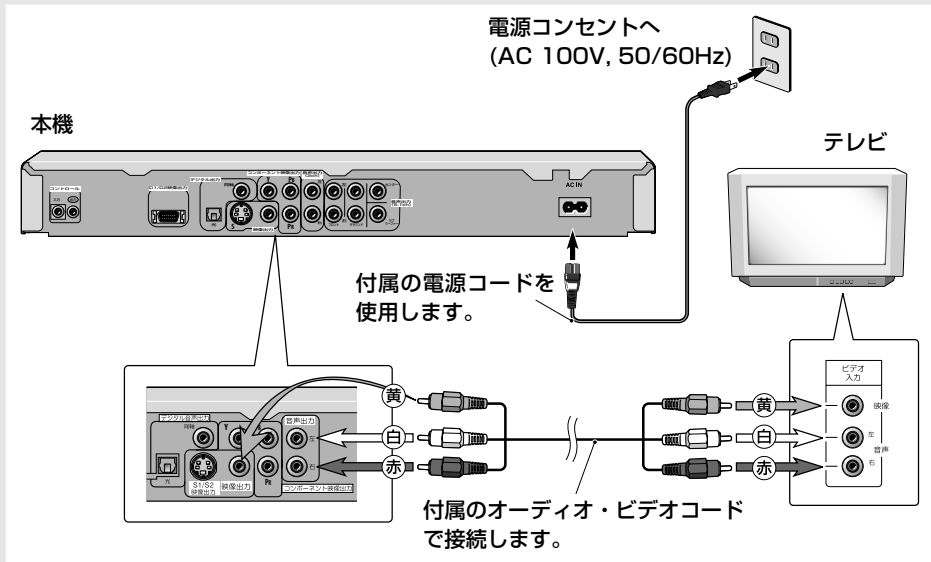
- 保証書
- 安全上のご注意
- 取扱説明書(本書)

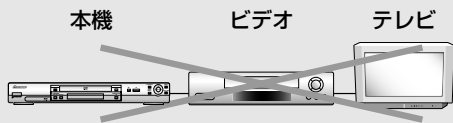
2 リモコンに電池を入れましょう

① 裏ブタのタブを押しながら矢印の方向へ開く。

② ケース内に表記されている極性 ⊕(プラス)/⊖(マイナス)を合わせて、乾電池を正しく入れる。

③ フタを矢印の方向に閉める。

注 意

◆ 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
◆ 長い間(1ヵ月以上)リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭きとってから新しい乾電池を入れてください。
◆ 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。

3 テレビに接続しましょう

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

注意

◆ **本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。**
本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。

◆ **本機の映像出力端子に接続した場合は、コンポーネント出力の設定はインターレース(出荷時の設定)のままご使用ください。**

Q&A

Q1: 5.1チャンネルサラウンドサウンドを楽しみたい！どんな接続をしたらいいですか？
→ **P.46** をご覧ください。

Q2: S映像端子に接続できますか？
→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.50** をご覧ください。

Q3: コンポーネント映像端子に接続できますか？
→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.49** をご覧ください。

Q4: D映像端子に接続できますか？
→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.49** をご覧ください。

Q5: モノラル音声入力端子に接続できますか？
→ できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.48** をご覧ください。

4 テレビの電源を入れましょう

テレビのリモコン、またはテレビ本体の電源ボタンで電源を入れます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

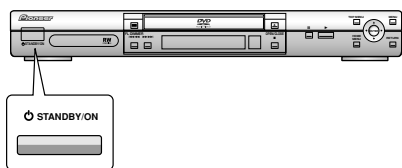
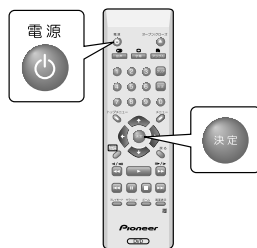
5 テレビの入力を切り換えましょう

テレビのリモコン、またはテレビ本体の入力切換ボタンで切り換えます。例えば、本機をテレビのビデオ入力2端子に接続したときはビデオ入力2を選びます。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

6 電源を入れましょう

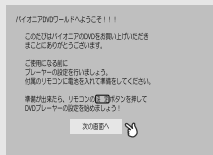
本体の⏻STANDBY/ONボタンを押す。

または

リモコンの⏻電源ボタンを押す。

テレビ画面に下記のように表示されれば映像の接続はOK!

① まず[Pioneer]が表示されます。

⬇

② 次に下記の画面が表示されます。

③ リモコンの**決定ボタン**を押して 7 に進みます。

Q&A

Q1: 電源が入らない！

→ 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか？(**P.5**)

Q2: 映像が映らない！

→ オーディオ・ビデオコードが正しく接続されていますか？(**P.5, 46**)

→ テレビの入力切換を合わせましたか？接続したビデオ入力に合わせてください。

→ 映像出力端子、またはS1/S2映像出力端子にのみ接続しているときに**[プログレッシブ]**を選択していませんか？(表示窓の**[PRGSVE]** が赤く点灯していませんか？)(**P.18**)。本体の**⏮ ◀◀ボタン**を押しながら**⏻STANDBY/ONボタン**を押して、**[インターレース]**に切り換えてください(**P.58**)。

Q3: リモコンで操作できない！

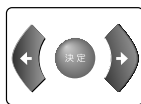
→ 本体との距離が離れすぎていませんか？約7mの範囲で操作することができます。

→ リモコンをテレビに向けて操作していませんか？本体のリモコン受光部に向けて操作してください(**P.17**)。

→ 本機を蛍光灯の近くに設置していませんか？蛍光灯から離れた場所に設置してください。

7 テレビの種類を選びましょう

お使いのテレビが[ワイドテレビ(16:9)]か[普通のテレビ(4:3)]かを選択します。

リモコンの ⇦⇨ で選択。決定ボタンで次の画面へ。

リモコンの⇦⇨で選択。決定ボタンで設定[終了]、または最初の画面に[戻る]。

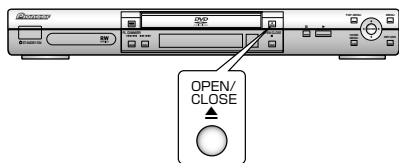
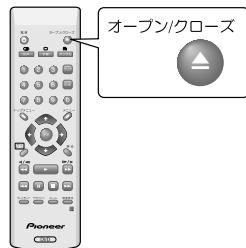
メモ

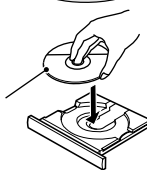
▼ [*DVDプレーヤーの設定を始めましょう！*]の画面は、一度設定すると次に電源を入れたときは表示されません。
▼ [*DVD プレーヤーの設定を始めましょう！*]の画面終了後にテレビの種類を変更したいときは、初期設定の[**テレビ画面**](**P.57**)で設定してください。

8 DVD をセットしましょう

本体の ▲OPEN/CLOSE ボタンを押す。

または

リモコンの ▲ オープン / クローズボタンを押す。

ディスクテーブルに DVD をセットしてください。

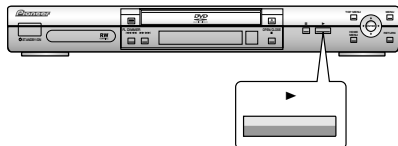
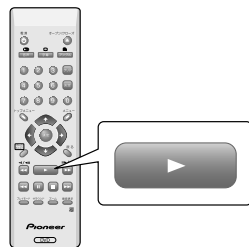
印刷面を上にする

DVD をセットしたら、本体の **▲OPEN/CLOSE ボタン**(またはリモコンの **▲ オープン / クローズボタン**)を押して、ディスクテーブルを閉めます。

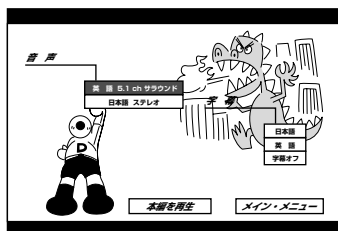
メモ

▼ ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始める DVD もあります。
▼ 本体の **▲OPEN/CLOSE ボタン**を押して電源を入れることもできます。
▼ 本機の操作(本体、またはリモコンで)を5分以上行なわないとテレビ画面にスクリーンセーバー([Pioneer]がランダムに表示）が表示されます(再生中は表示されません)。

本体の ► ボタンを押す。

または

リモコンの ► ボタンを押す。

DVD のメニュー画面が表示されたら・・・

再生を始めると最初にメニュー画面を表示するDVDがあります(メニュー画面の内容や操作方法はDVD によって異なります)。

- 映画などの DVD のメニューでは、お好みの音声や字幕などを選択することができます。DVD によっては、本編再生中に本機のリモコンで音声や字幕を切り換えることもできます。(**P.10**)
- 上記のように画面の上下に黒い帯がつく DVD があります。本機の故障ではありません。

リモコン	基本的な操作内容
	画面上で選択する項目を、上下左右に移動するときに使用します。ただし、ズーム（**P.28**）にて映像の拡大中は、項目を選択することはできません。
	選択した項目を、決定するときに押します。
メニュー	再生中などに、DVDのメニューを表示させるときに押します。
戻る	DVDのメニューにて、前の画面に戻るときに押します。
トップメニュー	階層のある DVD のメニューにて、はじめのトップ･メニューに戻るときに押します。

メ モ

▼ 2 層(Dual Layer)の DVD の場合、1 層から 2 層目に切りかわるポイントで、一瞬画像が静止することがあります。

Q&A

Q1: 電源が自動的に切れてしまう

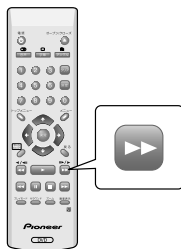
→ ディスクを再生していないとき(ディスクテーブルが閉まっている状態) で 30 分以上本体、またはリモコンの操作を行わないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります(**オートパワーオフ機能**)。

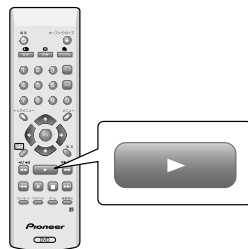
Q&A

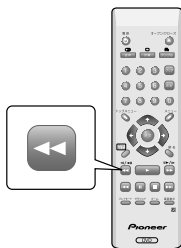
Q1: ディスクテーブルを閉めても出てきてしまう！
Q2: 再生できない！

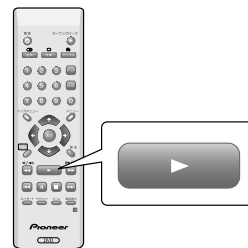
→ DVD がディスクテーブルに正しくセットされていますか？
→ DVD が汚れていませんか？ DVD をクリーニングしてください。
→ DVD の表裏が正しくセットされていますか？
→ リージョンNo.が一致していますか？本機で再生できるリージョンNo.は「2」と「ALL」のみです(**P.75, 78**)。
→ 本機の内部が結露している可能性があります。結露を除去してください(**P.80**)。

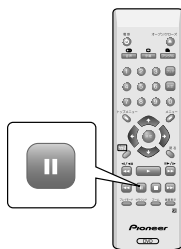
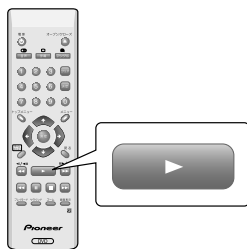
10 ちょっと場面を進めたいときは早送りしましょう

リモコンの ►► ボタンを押す（または本体の ►► ►►| ボタンを押し続ける）。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ►►]とテレビ画面に表示されます。
⬇
2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ►►]とテレビ画面に表示されます。
⬇
3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ►►]とテレビ画面に表示されます。
（本体の ►► ►►| ボタンで操作したときはスキャン 1 のみとなります。）

見たい場面まで進めたら ► ボタンを押す（本体の ►► ►►| ボタンのときは指を離す）。

11 ちょっと場面を戻したいときは早戻ししましょう

リモコンの ◄◄ ボタンを押す（または本体の |◄◄ ◄◄ ボタンを押し続ける）。

1 回押すと･･･速い
[スキャン 1 ◄◄]とテレビ画面に表示されます。
⬇
2 回押すと･･･もっと速い
[スキャン 2 ◄◄]とテレビ画面に表示されます。
⬇
3 回押すと･･･さらに速い
[スキャン 3 ◄◄]とテレビ画面に表示されます。
（本体の |◄◄ ◄◄ ボタンで操作したときはスキャン 1 のみとなります。）

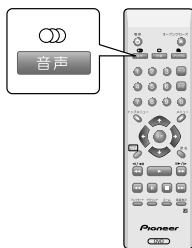
見たい場面まで戻したら ► ボタンを押す（本体の |◄◄ ◄◄ ボタンのときは指を離す）。

12 ちょっと休憩というときは一時停止しましょう

リモコンまたは本体の ❚❚ ボタンを押す。

☞ 通常の再生に戻すときは ►、または ❚❚ ボタンを押す。

13 字幕スーパー版の映画を吹き替え版にしましょう
(お好みの音声と字幕に切り換える)

DVD の中には、複数の音声と字幕が収録されているものがあります（ディスクによって収録されている言語数は異なります）。
ここでは英語と日本語が収録されている DVDビデオ を吹替え版に設定する例を説明します。DVD によっては下記の操作で音声や字幕を切り換えられないものがあります。このようなときは DVD のメニュー画面で切り換えてください（P.8）。

音声を切り換えましょう

ここでは英語で聞こえる音声を日本語にします(もちろん複数の言語が収録されている DVDビデオ では他の言語を選ぶこともできます)。
音声が二重(二カ国語)で記録されている DVD-RW(VR) の場合も音声を切り換えることができます。
複数の音声が収録されている DVDオーディオ では、音声の種類を切り換えることができます。

DVDを再生しているときに 、リモコンの音声ボタンを押す。

☞ 一度押すと現在再生している音声を表示し、表示中に押すと、以下のように切り換わります。

例） DVDビデオ の音声切換画面

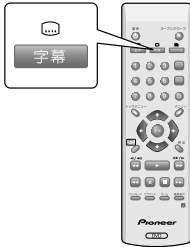
＊ 3/2.1CH はディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは 84 ページをご覧ください。

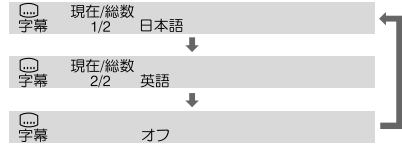
注 意

◆ DVDオーディオ ソフトを再生中に音声ボタンを押して音声の切り換えを行うと、そのトラックの始めから再生を行います。

字幕を切り換えましょう

音声の切り換えでセリフを日本語にしたので字幕はオフを選びます(もちろん複数の言語が収録されているDVDビデオでは他の言語を選ぶこともできます)。

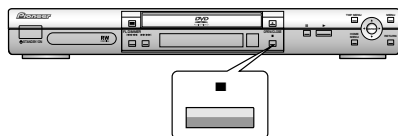
DVDを再生しているときに、リモコンの字幕ボタンを押す。

一度押すと現在再生している字幕を表示し､表示中に押すと、以下のように切り換わります。

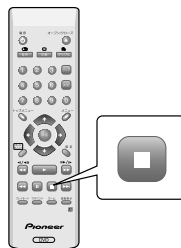
例) **DVDビデオの字幕切換画面**

＊ 字幕が収録されていないときは[– / –]が表示されます。

メ モ

▼ ここで切り換えた音声、または字幕の設定は、下記のようなとき初期設定（**P.60**）にて設定した状態に戻ります。
⇨ リジューム機能（**P.12**）を解除したとき
⇨ DVDを取り出したとき（**P.12**）
▼ 再生中のDVDによっては音声を切り換えたときに一瞬静止画になることがあります。

それでは思う存分DVDの世界を楽しんでください！

14 DVD を停止しましょう

本体の ■ ボタンを押す。　　　リモコンの ■ ボタンを押す。

または

■ **ボタンを** 1 回押すと表示窓に･･･

STOP ➡ RESUME

･･･と表示され、停止した場所を記憶します(リジューム機能)。次に再生したときは停止した場所から再生します。DVDを取り出すとラストメモリー機能が働きます。次回、そのDVDを入れて ► **ボタン**を押すと、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。

停止中に■**ボタン**をもう一回押すと表示窓に･･･

DVD

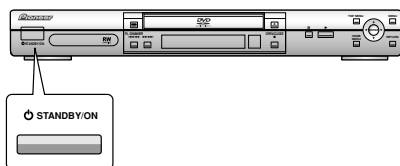
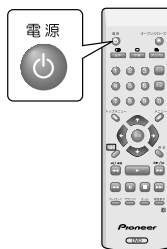
･･･と表示され、リジューム機能またはラストメモリー機能が解除されます。次に再生したときは DVD の最初から再生します。

メ モ

▼ 本機は DVD5 枚分の停止した場所を記憶できます。5 枚を超えると一番古いメモリーから消去されていきます。
▼ DVD-RW(VR)では、ラストメモリー機能は動作しません。
▼ DVDオーディオはリジューム機能が使えません。

15 電源を切りましょう

電源を切る前にDVD を取り出しましょう。リモコンの▲**オープン / クローズボタン**(または本体の▲**OPEN/CLOSE ボタン**)を押して、ディスクテーブルを開けてから取り出します。

本体の⏻STANDBY/ON ボタンを押す。　　　リモコンの⏻電源ボタンを押す。

⏻**電源ボタン**を押すと表示窓に･･･

-OFF- ･･･と表示されます。

メ モ

▼ 電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の**[-OFF-]**表示が消えていることを確認してください。**[-OFF-]**表示中に抜くと本機の設定が工場出荷時状態に戻ることがあります。

こんなこともできます

DVDにはこんな再生のしかたもあります

ダイレクトサーチ (P.20)
見たいタイトルやチャプター番号を指定して見ることができます。

スキップ(頭出し) (P.20)
見たいチャプターを頭出しすることができます。

コマ送り/スロー再生 (P.21)
映像をコマ送りして見ることができます。また、映像をスローで見ることもできます。

プレイモード (P.22-26)
リピート、ランダム、プログラム、またはサーチモードなど再生方法の種類を選択することができます。

A-Bリピート/リピート再生 (P.22-23)
指定した箇所(A点からB点まで)、タイトル、またはチャプターを繰り返し再生することができます。

ランダム再生 (P.23)
タイトルやチャプターを順不同に再生することができます。

プログラム再生 (P.24-25)
タイトルやチャプターの順番を変えて再生することができます。

サーチモード (P.26)
タイトル、チャプター、または時間を指定して見たい場所を探すことができます。

ディスクナビゲーター (P.27)
見たいタイトルやチャプターを指定して見ることができます。

マルチアングル (P.27)
複数のアングルが収録されている DVDビデオ では、アングルを切り換えることができます。

ズーム (P.28)
再生中の映像を拡大して見ることができます。

ディスクの情報 (P.28)
タイトルやチャプターの経過時間や残り時間などを見ることができます。

こんなディスクも再生できます

DVD-R/RWの再生 (P.20-28, 75)
DVDレコーダーで記録されたDVD-R/RWを再生することができます。

ビデオCD/CDの再生 (P.29-36, 75, 77)
ビデオCD CD(R/RW) を再生することができます。

MP3の再生 (P.29-36, 75, 77)
MP3 を再生することができます。

JPEGの再生 (P.37-40, 75, 77)
JPEG を再生することができます。

DVDオーディオの再生(P.65-67)
DVDオーディオ を再生することができます。

SACDの再生(P.67)
SACD を再生することができます。

こんなこともできます

こんな機能もあります

オーディオDRC (P.41)
大きい音を小さく、小さい音を大きく聞くことができます。

チャンネルレベル (P.41-42)
スピーカーの出力レベルを調整することができます。

バーチャルサラウンド (P.43)
2つのスピーカーで臨場感のある立体音場を楽しむことができます。

画質調整 (P.44-45)
いくつかの項目を調整して、画質をお好みに設定することができます。

セットアップナビゲーター (P.51-53)
本機とAVアンプを接続したときに必要な設定を簡単に行うことができます。

こんな接続のしかたもあります

DVDビデオの5.1chサラウンド接続 (P.46)
DVDビデオをAVアンプなどと接続して5.1ch音声を楽しむことができます。

DVDオーディオやSACDの5.1chサラウンド接続 (P.47)
DVDオーディオやSACDをAVアンプなどと接続して5.1ch音声を楽しむことができます。

デジタル音声端子の接続 (P.48)
デジタル音声入力端子のあるAVアンプなどとデジタル接続することができます。

アナログ音声端子の接続 (P.48)
2chアナログ音声入力端子やモノラル音声入力端子のあるテレビなどと接続することができます。

映像端子の接続 (P.49-50)
コンポーネント映像入力、D映像端子、S映像入力端子を持っているテレビなどと接続することができます。

こんな設定が変更できます

デジタル音声出力の設定 (P.54-56)
デジタル音声出力端子から音声を出力しない設定や、接続したアンプが対応しているデジタル信号の種類を選択することができます。

テレビ画面の設定 (P.57)
接続したテレビのサイズ(16:9=ワイド、または4:3=従来サイズ)を選択することができます。

コンポーネント出力の設定 (P.58)
コンポーネント映像/D映像端子から出力される映像を、プログレッシブに切り換えることができます。

S映像出力の設定 (P.59)
S映像出力端子から出力される映像信号を切り換えることができます。

音声言語の設定 (P.60)
初期設定画面で音声言語を変更することができます。

字幕言語の設定 (P.60)
初期設定画面で字幕言語を変更することができます。

DVDメニュー言語の設定 (P.61)
DVDビデオ に収録されているメニューを表示させる言語を変更することができます。

こんな設定が
変更できます

字幕表示の設定 (P.61)
字幕を表示しないようにすることができます。

画面表示言語の設定 (P.62)
初期設定画面などに表示される言語を切り換えることができます。

画面表示の設定 (P.62)
画面に操作表示(「再生」、「停止」など)をしないようにすることができます。

アングルマーク表示の設定 (P.62)
再生中に表示されるアングルマークを表示しないようにすることができます。

視聴制限の設定 (P.63-65)
暴力シーンなどを収録した DVDビデオ の視聴を制限することができます。

ボーナスグループの設定 (P.65)
DVDオーディオ のボーナスグループを再生することができます。

オートディスクメニューの設定 (P.66)
ディスクをセットした後、自動的にメニュー画面を表示しないようにすることができます。

グループ再生の設定 (P.66)
DVDオーディオ のすべてのグループを続けて再生することができます。

DVD再生方式 (P.67)
DVDオーディオ を DVDビデオ として再生することができます。

SACD再生の設定 (P.67, 84)
SACD の2チャンネルエリアまたはCDエリアを切り換えて再生することができます。

フォトビューワー (P.67)
JPEG と ＭＰ３ のどちらのファイルを再生するかを選択することができます。

DTSダウンミックス (P.68)
DTSのダウンミックス方法をステレオダウンミックスまたはドルビーサラウンドダウンミックスに設定することができます。

初期化 (P.68)
本機のすべての設定を工場出荷時に戻すことができます。

音声出力について (P.70)
音声出力端子(5.1ch)から音声を出力することができます。

スピーカー設置 (P.71)
各スピーカーのサイズを設定することができます。

スピーカーの距離補正 (P.72)
リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定することができます。

チャンネルレベル (P.73)
音声出力端子(5.1ch)にAVアンプを接続しているとき、テストトーンを聞きながら各スピーカーの出力レベルを設定することができます。

本文中の表記について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

DVDビデオ　市販のDVDビデオ、またはビデオモードにて記録されたDVD-R/RW
DVD-RW(VR)　VRモードにて記録されたDVD-RW
DVDオーディオ　市販のDVDオーディオ
ビデオCD　ビデオCD
SACD　市販のSACD（スーパーオーディオCD）
CD(R/RW)　市販の音楽用CD、またはCDDAフォーマットで音楽が記録されたCD-R/RW
MP3　MP3ファイルが記録されたCD-R/RW
JPEG　JPEGファイルが記録されたCD-R/RW

再生できるディスクの種類

下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

	DVDビデオ	DVDオーディオ	DVD-R	DVD-RW	
DVD	DVD VIDEO	DVD AUDIO	DVD R	DVD RW	
ファイル/フォーマット	DVDビデオ	DVDオーディオ	DVDビデオ	DVDビデオ DVD-RW(VR)	
CD	ビデオCD COMPACT disc DIGITAL VIDEO	SACD SUPER AUDIO CD	CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO	CD-R COMPACT disc Recordable	CD-RW COMPACT disc ReWritable
ファイル/フォーマット	ビデオCD	SACD	CD(R/RW)	CD(R/RW) MP3 JPEG	CD(R/RW) MP3 JPEG
F-Disc (エフディスク)		(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです。			
フジカラーCD					
コダックピクチャーCD					

：このマークは富士写真フイルム(株)の商標です。

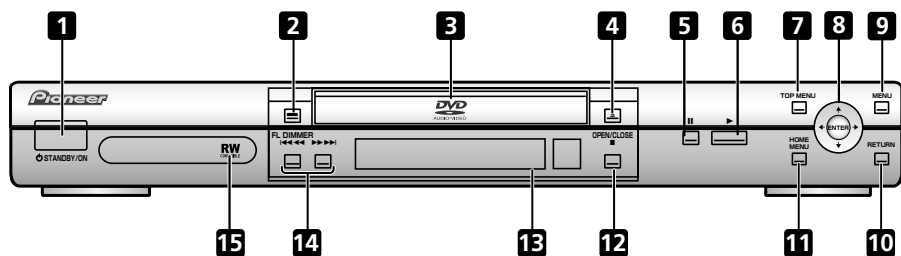
コピーコントロールCDについて

当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。
CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

本機で再生できないディスクの種類

DVD-ROM、DVD-RAM、CD-G、リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオなど

各部のなまえとはたらき

本体前面

1 ⏻ **STANDBY/ON** — 電源を入れる/切る(**P.6, 12**)。

2 **FL DIMMERボタン** — 本体表示窓の明るさを消灯から通常点灯まで4段階に切り換え、表示窓を消灯するとこのボタンが点灯。

3 **ディスクテーブル(P.7)**

4 **OPEN/CLOSE ⏏** — ディスクテーブルを開閉する(**P.7**)。

5 **II** — 映像/音声を再生中に押すと、映像/音声が一時停止する。もう一度押すと通常の再生に戻る(**P.10, 29, 37**)。

6 ► — ディスクを再生する(**P.8, 29, 37**)。

7 **TOP MENU** — DVDビデオ DVDオーディオの最上層のメニュー画面を表示する。

8 **ENTER** — 設定/選択した項目を実行する。

⇧⇩⇦⇨ — 項目を選択/変更する。またはカーソルを上下左右に移動する。

9 **MENU** — DVDビデオでは、ディスクメニューを表示する。DVD-RW(VR) ビデオCD CD(R/RW) ＭＰ３ JPEGでは、ディスクナビゲーターを表示する(**P.8, 34, 38**)。

10 **RETURN** — 初期設定画面やメニュー画面などが表示されているとき押すと1つ前の項目に戻る。

11 **HOME MENU** — ホームメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする。

12 ■ — ディスクを停止する(**P.12, 29, 37**)。

13 **リモコン受光部** — 約7m以内の距離から、ここにリモコンを向けて操作する。

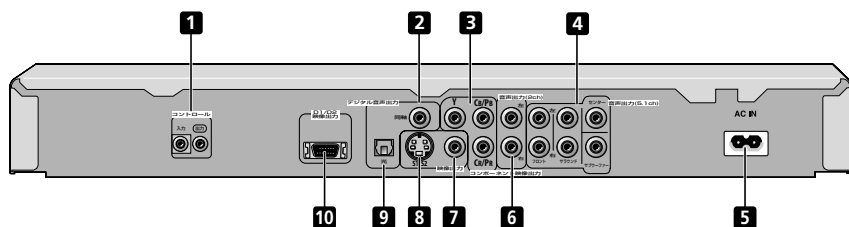
14 ►►►►I — チャプター/トラックを早送り、または頭出しする(**P.9, 20, 29, 37**)。

I◄◄◄◄ — チャプター/トラックを早戻し、または頭出しする(**P.9, 20, 29, 37**)。

15 **RW** COMPATIBLE — DVD-RW(VR)が再生できる機能を示す。

メモ

▼ 本機を蛍光灯の近くに設置するとリモコンの操作が受けにくくなることがあります。このようなときは、蛍光灯から離した場所に設置してください。

本体背面

1 コントロール入力/出力端子(**P.50**)

2 同軸デジタル音声出力端子(**P.48**)

3 コンポーネント(Y、CB/PB、CR/PR)映像出力端子(**P.49**)

4 音声出力(5.1ch)端子(**P.47**)

5 電源コード接続端子(**P.5, 46-47**)

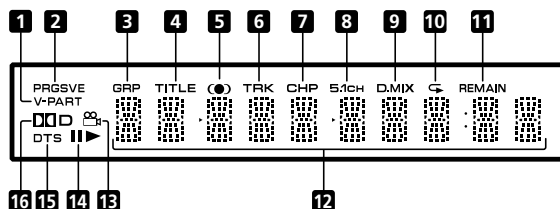
6 音声出力(2ch)端子(**P.5, 46, 48**)

7 映像出力端子(**P.5, 46, 47**)

8 S1/S2映像出力端子(**P.50**)

9 光デジタル音声出力端子(**P.46, 48**)

10 D1/D2映像出力端子(**P.49**)

表示窓

1 DVDビデオ、またはDVDオーディオ再生中、映像信号のある場面で点灯

2 映像出力方式でプログレッシブが選択されているときに点灯(**P.58**)

3 グループ番号が表示されているときに点灯

4 タイトル番号が表示されているときに点灯

5 DDV/SRS TruSurround機能をONにしているときに点灯(**P.43**)

6 トラック番号が表示されているときに点灯

7 チャプター番号が表示されているときに点灯

8 [**音声出力モード**]の設定で[**5.1チャンネル**]を選択しているときに点灯(**P.69**)

9 マルチチャンネル音声を2CHダウンミックスして再生している時に点灯(**P.69**)

10 リピート再生中に点灯(**P.22-23**)

11 タイトル/チャプター/トラックの残り再生時間が表示されているときに点灯

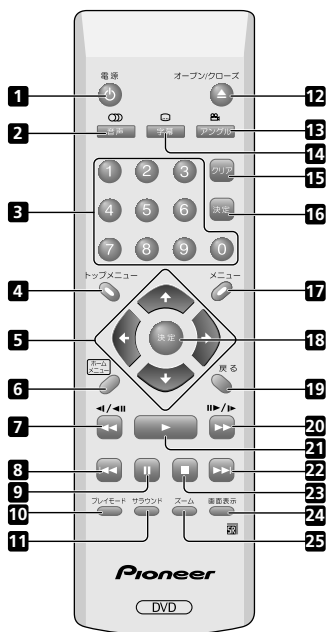
12 いろいろな情報を表示する

13 アングルを変更できる場面で点灯(DVDビデオのみ)(**P.27, 62**)

14 ディスクを一時停止または再生しているときに点灯

15 DTS音声を選択して再生しているときに点灯(**P.55**)

16 ドルビーデジタル音声を選択して再生しているときに点灯(**P.55**)

リモコン

1　⏻ **電源** — 電源を入れる/切る(**P.6, 12**)。

2　**音声** — DVDビデオの音声言語、2重音声で記録されたDVD-RW(VR)、または DVDオーディオ ビデオCDの音声を切り換える(**P.10, 36**)。

3　**数字** — 見たい/聞きたいタイトル/チャプター/トラックを指定して再生したいとき、またはメニュー画面で項目を選択するときなどに使う。**数字ボタン**で選択して**決定ボタン**を押す、または2秒以上待つ(**P.20, 29, 37**)。

4　**トップメニュー** — DVDビデオ DVDオーディオ の最上層のメニュー画面を表示する。

5　⇧⇩⇦⇨ — 項目を選択/変更する。またはカーソルを上下左右に移動する。

6　**ホームメニュー** — ホームメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする。

7　**◀◀ /◀❙/◀❙❙** — 再生中、映像や音声の早戻しをする。一時停止中に押すと逆方向にコマ戻し再生、押し続けると逆方向にスロー再生をする(**P.9, 20, 29**) 。

8　❙◀◀ — 現在再生中のチャプター/トラックの始めに戻る(**P.20, 29, 37**)。

9　❙❙ — 映像/音声を再生中に押すと、映像/音声が一時停止する。もう一度押すと通常の再生に戻る(**P.10, 29, 37**)。

10　**プレイモード** — プレイモード画面を表示する(**P.22, 30**)。ホームメニューボタンを押して、ホームメニューからプレイモード画面を選択することもできます。

11　**サラウンド** — バーチャルサラウンド(立体音場)機能をオン/オフにする(**P.43**)。

12　**⏏ オープン/クローズ** — ディスクテーブルを開閉する(**P.7**)。

13　**アングル** — DVDビデオのアングルを切り換える(**P.27, 39**)。

14　**字幕** — DVDビデオの字幕言語を切り換える(**P.10**)。

15　**クリア** — リピート再生、ランダム再生、プログラム再生などで設定した内容を取り消す。

16　**決定** — **18** と同じ。

17　**メニュー** — DVDソフトのメニュー画面を表示する。DVD-RW(VR) ビデオCD CD(R/RW) ＭＰ３ JPEGでは、ディスクナビゲーターを表示する(**P.8, 34, 38**)。

18　**決定** — 設定/選択した項目を実行する。

19　**戻る** — 初期設定画面やメニュー画面などが表示されているとき押すと1つ前の項目に戻る。

20　**▶▶ /❙❙▶/❙▶** — 再生中、映像や音声の早送りをする。一時停止中に押すとコマ送り再生、押し続けるとスロー再生をする(**P.9, 21, 29, 36**)。

21　▶ — ディスクを再生する(**P.8, 29, 37**)。

22　▶▶❙ — 次のチャプター/トラックの始めに送る(**P.20, 29, 37**)。

23　■ — ディスクを停止する(**P.12, 29, 37**)。

24　**画面表示** — ディスクの情報を表示する(**P.28, 34, 39**)。

25　**ズーム** — 再生している映像を拡大する(**P.28, 39**)。

DVDにはこんな再生のしかたもあります

タイトル / グループやチャプター / トラックを指定して再生しましょう(ダイレクトサーチ)

DVDのメニューを使わないで、ダイレクトに見たいタイトルやチャプターを再生することができます。(ダイレクトサーチ機能)
ただしDVD-RW(VR)では再生中もタイトルサーチとなります。
DVDオーディオでは、グループ / トラックを指定して再生します。

タイトル / グループを指定して再生するには・・・

1. **停止中に数字(0 ~ 9)ボタンでタイトル / グループ番号を入力して、決定する**

0 ~ 9　決定

- 番号入力後、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- タイトル/グループを指定して再生できないディスクもあります。

例) タイトル3を再生するには、**3**を押して**決定ボタン**を押します。

チャプター / トラックを指定して再生するには・・・

1. **再生中に数字(0 ~ 9)ボタンでチャプター / トラック番号を入力して、決定する**

0 ~ 9　決定

- 番号入力後、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。
- 現在再生中のタイトル / グループ内のチャプター / トラックのみを指定することができます。

例) チャプター 12 を再生するには、**1, 2** を押して**決定ボタン**を押します。

頭出しをしましょう(スキップ)

押した回数だけチャプター / トラックをスキップします。

見たいチャプター / トラックに進むには・・・

1. **再生中に ▶▶| ボタンを押す**

次のチャプター / トラックに進みます。

見たいチャプター / トラックに戻るには・・・

1. **再生中に |◀◀ ボタンを押す**

再生中ののチャプター/トラックの先頭に戻ります。2回押すと 1 つ前のチャプター / トラックに戻ります。

コマ送り再生をしましょう

1. **再生中に II ボタンを押す**

一時停止になります。

2. II▶/I▶

II▶/I▶ ボタンを押す

押すたびにコマ送りします。

逆方向にコマ送り再生するには･･･

1. ◀I/◀II

一時停止中に ◀I/◀II ボタンを押す

押すたびに逆方向へコマ送りします。

通常の再生に戻すには･･･

1. **▶ ボタンを押す**

メ モ

- ▼ コマ送り再生は音声が出力されません。
- ▼ コマ送り再生できないディスクもあります。
- ▼ 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- ▼ 逆方向のコマ送り再生中、映像が揺れることがあります。

スロー再生をしましょう

1. **再生中に II ボタンを押す**

一時停止になります。

2. II▶/I▶

II▶/I▶ ボタンを押し続ける

[スロー 1/16 I▶]と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

逆方向にスロー再生するには･･･

1. ◀I/◀II

一時停止中に ◀I/◀II ボタンを押し続ける

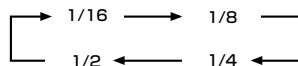
通常の再生に戻すには･･･

1. **▶ ボタンを押す**

スロー再生の速さを変えるには･･･

1. II▶/I▶

スロー再生中に II▶/I▶ ボタンを押す

押すたびに下記のように速さが変わります。

逆方向のスロー再生の速さを変えるには･･･

1. ◀I/◀II

スロー再生中に ◀I/◀II ボタンを押す

押すたびに[スロー 1]⟷[スロー 2]が切り換わります。

メ モ

- ▼ スロー再生中は音声が出力されません。
- ▼ スロー再生できないディスクもあります。

プレイモード画面を表示させましょう

1. プレイモード

プレイモードボタンを押して、プレイモード画面を表示させる

- DVDビデオ では、ディスクメニューの表示中にプレイモード画面を表示させることはできません。
- ホームメニュー画面からもプレイモードを選択することができます(**ホームメニューボタン**を押して、設定画面を表示します)。

2.

項目を選択する

- **A-B リピート(P.22)**
  再生中のタイトル内の指定した範囲を繰り返し再生する。
- **リピート(P.23)**
  タイトルやチャプターを繰り返し再生する。
- **ランダム(P.23)**
  タイトルやチャプターを順不同に再生する。
- **プログラム(P.24)**
  タイトルやチャプターの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(P.26)**
  タイトル、チャプター、または時間を指定して再生する。

3.

カーソルを右へ移動する

指定した箇所を繰り返し再生しましょう(A-B リピート再生)

まずは『*プレイモード画面を表示させましょう*』(**P.22**)をご覧になり、**[A-Bリピート]**を選択してください。

1.

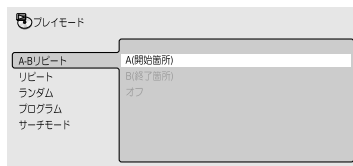
A-B リピートを開始したい箇所で[A(開始箇所)]を選択して、決定する

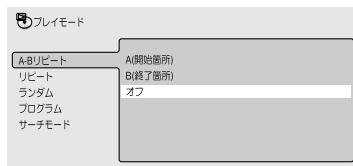
2.

A-B リピートを終了したい箇所で[B(終了箇所)]を選択して、決定する

A-B リピート再生を開始します。

A-B リピート再生を解除するには･･･

1.

[オフ]を選択して、決定する

A-B リピート再生中に**クリアボタン**を押しても解除することができます。

メモ

▼ 異なるタイトルをまたいで A-B リピート再生をすることができません。

▼ DVDオーディオでは、A-Bリピート再生ができません。

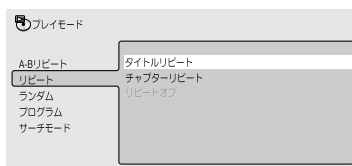
繰り返し再生しましょう（リピート再生）

DVDのタイトル/チャプター(場面)を繰り返し再生します。

DVDオーディオ**では、グループ/トラックをリピート再生します。**

まずは『*プレイモード画面を表示させましょう*』(**P.22**)をご覧になり、[**リピート**]を選択してください。

1. 再生中にリピート再生の種類を選択して、決定する

リピート再生を開始します。

- **タイトル/グループリピート**
  現在再生中のタイトル/グループを繰り返し再生します。
- **チャプター/トラックリピート**
  現在再生中のチャプター/トラックを繰り返し再生します。
- **リピートオフ**
  通常の再生に戻ります(リピート再生中に**クリアボタン**を押しても通常の再生に戻すことができます)。

メ モ

- ▼ ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。
- ▼ リピート再生できないディスクがあります。
- ▼ リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。
- ▼ リピート再生中にアングルを切り換える(**P.27**)と、リピート再生は解除されます。

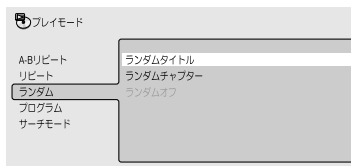
順不同に再生しましょう（ランダム再生）

DVDのタイトルやチャプターを順不同に再生することができます。

DVDオーディオ**では、グループ/トラックをランダム再生します。**まずは『*プレイモード画面を表示させましょう*』(**P.22**)をご覧になり、[**ランダム**]を選択してください。

1. ランダム再生の種類を選択して、決定する

ランダム再生を開始します。

DVDビデオのランダム画面

- **ランダムタイトル/グループ**
  現在再生中のタイトル/グループを順不同に再生します。
- **ランダムチャプター/トラック**
  現在再生中のタイトル/グループ内のチャプター/トラックを順不同に再生します。
- **ランダムオフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押しても通常の再生に戻すことができます)。

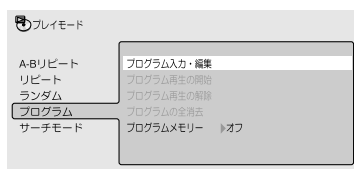
メ モ

- ▼ ディスクを停止するとランダム再生は解除されます。
- ▼ ランダム再生できないディスクがあります。
- ▼ DVD-RW(VR)では、ランダム再生ができません。
- ▼ ランダム再生とリピート再生、またはプログラム再生を同時に行うことはできません。
- ▼ ランダム再生中に▶▶|を押すと、順不同に次のチャプターを選択して再生します。また、|◀◀を押すと、現在再生中のチャプターの始めに戻り再生します。このとき、現在再生中のチャプターより前のチャプターに戻ることはできません。

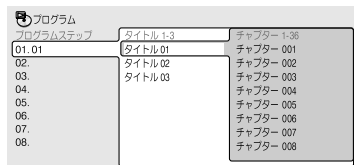
順番を変えて再生しましょう(プログラム再生)

24ステップまでプログラム登録をすることができます。DVDオーディオでは、グループ/トラックをプログラム再生します。
まずは『*プレイモード画面を表示させましょう*』(**P.22**)をご覧になり、**[プログラム]**を選択してください。24ステップまでプログラムすることができます。

1. [プログラム入力・編集]を選択して、決定する

[プログラムメモリー]はDVDのときのみ選択することができます(**P.25**)。

2. プログラムしたいタイトル/グループ、またはチャプター/トラックを選択して、決定する

例) DVDビデオ のプログラム画面

プログラム		
プログラムステップ	タイトル 1-3	チャプター 1-36
01. 01	タイトル 01	チャプター 001
02.	タイトル 02	チャプター 002
03.	タイトル 03	チャプター 003
04.		チャプター 004
05.		チャプター 005
06.		チャプター 006
07.		チャプター 007
08.		チャプター 008

- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

3. 2を繰り返して他のタイトル/チャプターをプログラムする

ステップの間にプログラムを追加するには…

例) プログラムステップ02の前にタイトル1のチャプター7を追加する

① カーソルをプログラムステップ02に合わせる

② タイトル1のチャプター7を選択して、決定する

プログラムステップ02にタイトル1のチャプター7が追加されます。もともとプログラムステップ02にあったタイトル/チャプターは新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除するには…

例) プログラムステップ02のプログラムを削除する

① カーソルをプログラムステップ02に合わせる

② クリアボタンを押す

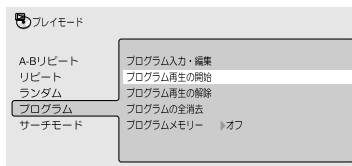
プログラムステップ02のプログラムが削除され、その後ろにあったタイトル/チャプターが1つ前に繰り上がります。

4. ►ボタンを押す

- プログラムした順に再生を開始します。

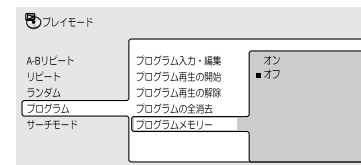
メ モ

- ▼ DVD-RW(VR)ではプログラム再生ができません。
- ▼ タイトル/チャプターが変わるときに、プログラムしていないタイトル / チャプターの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
- ▼ プログラム再生をリピートする(繰り返す)ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の**[リピート]**から**[プログラムリピート]**を選択します(**P.23**)。
- ▼ プログラム再生をランダム(順不同に)再生することはできません。プログラム再生を解除して、ランダム再生のみをします。
- ▼ プログラム再生中に▶▶|を押すと、次のプログラムステップのタイトル / チャプターを再生します。

プログラム再生を開始/解除/全消去するには･･･

- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります(プログラム再生中に**クリアボタン**を押して解除することもできます)。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します(停止中に**クリアボタン**を押して消去することもできます)。

プログラムした内容を記憶するには･･･（プログラムメモリー）

DVDビデオでは、ディスクを取り出してもプログラムした内容を記憶しておくことができます。プログラムメモリーしたディスクを再生すると、自動的にプログラムされている順に再生を開始します。最大24枚まで記憶させることができます。24枚を超えると、古い記憶から消去されます。

1. **[プログラムメモリー]を選択して、カーソルを 右へ移動する。**

2. **[オン]を選択して、決定する。**

プログラムメモリーを解除するときは**[オフ]**を選択して、決定します。

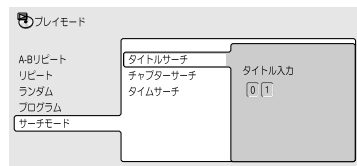
メ モ

- ▼ プログラムメモリー機能を使うと、(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたエフディスクをお客様のお好み順に再生することができます。また、ディスク内の最大24個のタイトル/チャプターを指定した順に並び替えてプレーヤーのメモリーに記録することにより、次回ディスクを挿入すると自動的にその順番に再生することもできます。最大24枚のディスクについてお好み順を記録しておくことができ、各ディスクで指定した並び順がプレーヤー内に記録されます。

見たい場面を探しましょう(サーチモード)

DVDオーディオでは、グループサーチ / トラックサーチを選択します。
まずは『**プレイモード画面を表示させましょう**』(**P.22**)をご覧になり、**[サーチモード]**を選択してください。

1. サーチモードの種類を選択して、決定する

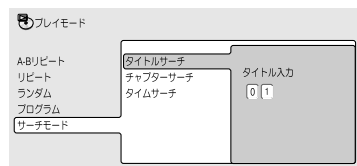
例) DVDビデオ のサーチモード画面

- **タイトル / グループサーチ**
  タイトル/グループを指定して再生する。
- **チャプター / トラックサーチ**
  チャプター / トラックを指定して再生する。
- **タイムサーチ(DVDオーディオは除く)**
  時間を指定して再生する。

2. 数字(0 ～ 9)ボタンで再生したいタイトル / グループ、チャプター / トラック、または時間を入力して、決定する

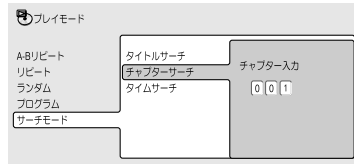
決定

指定したタイトル / グループ、チャプター / トラック、または時間から再生を開始します。

タイトル / グループサーチを選択したとき･･･

例) DVDビデオ のタイトルサーチ画面

例えば、タイトル３を再生するには、３を押して決定ボタンを押します。

チャプター / トラックサーチを選択したとき･･･

例) DVDビデオ のチャプターサーチ画面

例えば、チャプター 12 を選択するには、**1, 2** を押して**決定ボタン**を押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

ディスク再生中のみ選択できます。

例)
- 21 分 43 秒を選ぶには、**2, 1, 4, 3** を押して**決定ボタン**を押します。
- 1時間04分(64分00秒)を選ぶには、**6, 4, 0, 0** を押して**決定ボタン**を押します。

メ モ

- ▼ DVDビデオでは、ディスクメニューで見たい場面を探す(サーチする)ことができるディスクがあります。このときは、リモコンの**メニューボタン**でディスクメニューを表示させてサーチしてください(**P.8**)。
- ▼ DVDオーディオではタイムサーチはできません。
- ▼ DVDオーディオ には、静止画が収録されているディスクがあります(**P.83**)。静止画の種類によって、静止画の番号(ページ)を指定してサーチすることができます。

ディスクナビゲーターを使って再生しましょう

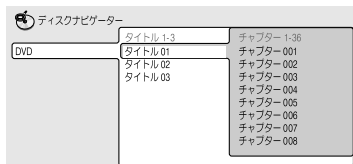
1. ホームメニュー

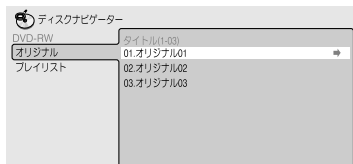
ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させる

DVD-RW(VR)では、**メニューボタン**でディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順３に進んでください。

2. **[ディスクナビゲーター]を選択して、決定する**

3. **カーソルをタイトル、またはチャプターに移動する**

例）DVDビデオのディスクナビゲーター画面

例）DVD-RW(VR)のディスクナビゲーター画面

プレイリストを設定しているときは、**[オリジナル]**、または**[プレイリスト]**を選択して再生することができます。

- プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面に**[プレイリスト]**は表示されません。
- 再生中に**[オリジナル]**と**[プレイリスト]**を切り換えることはできません。ディスクを停止してから切り換えてください。

映像を確認してから再生するには(プレビュー)…

停止中に確認したいタイトルを選択して⇨を押す。
タイトルの先頭の画像を表示します。

4. **再生したいタイトル、またはチャプターを選択して、決定する**

選択したタイトル、またはチャプターから再生を開始します。

メ モ

▼ **オリジナルとは**
DVDレコーダーで録画して作られたタイトルを「オリジナル」といいます。

▼ **プレイリストとは**
オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。

映像のアングルを切り換えましょう（マルチアングル）

複数のアングルが収録されているDVDビデオでは、再生中にアングルを切り換えることができます。詳しくは**P.78, 82**をご覧ください。

1. アングル

アングルボタンを押す

現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すたびにアングルが切り換わります。

例）

アングル　現在/総数 2/4

メ モ

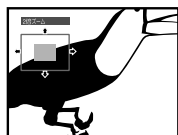
▼ 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークが画面に表示されます。
▼ マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
▼ ディスクメニューでアングルを切り換えることができるディスクもあります(**P.8**)。
▼ マークを表示させたくないときは、初期設定の**[アングルマーク表示]**を**[オフ]**にします(**P.62**)。

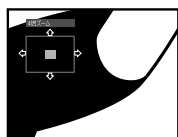
映像を拡大して見ましょう(ズーム)

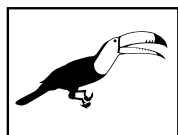
1. ズーム

ズームボタンを押す

ズームエリア(拡大する場所)が左上に表示されます。

1回押すと･･･

･･･2倍に拡大！

2回押すと･･･

･･･4倍に拡大！

3回押すと･･･

･･･通常の映像に戻る

2.

ズームエリア表示中に⇧⇩⇦⇨でズームエリアを移動する

メ モ

- ▼ 約5秒間ボタン操作がないと、ズームエリアが消えます。さらに倍率を変えたいときは、もう一度**ズームボタン**を押してズームエリアを表示してください。
- ▼ ズーム中は字幕が表示されません。
- ▼ DVDのメニュー画面を表示中に映像をズームすると、項目を選択することができません。通常の映像に戻してから、選択してください。

ディスクの情報を見ましょう

DVDオーディオでは、グループ/トラックの情報が表示されます。

1. 画面表示

再生中に画面表示ボタンを押す

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1回押すと･･･

例）DVDビデオ DVD-RWVR)のタイトル情報画面

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
タイトル	1/3	0.12	138.47	138.59
音声	1. 英語 Dolby Digital 3/2.1CH	字幕	2. 日本語	アングル 1

現在再生中のタイトルの情報が表示されます。

2回押すと･･･

例）DVDビデオのチャプター情報画面

再生	► DVD			チャプターリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
チャプター	1/36	0.15	1.53	2.08
転送レート	▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮		8.1Mbps	

例）DVD-RW(VR)のチャプター情報画面

再生	► DVD-RW	オリジナル	チャプターリピート
	現在/総数		
チャプター	1/36		
転送レート	▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮▮	8.1Mbps	

現在再生中のチャプターの情報と転送レート＊が表示されます。

3回押すと･･･

表示が消えます。

＊ 転送レートとは、DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。転送レートのレベルが高いほど情報量は多くなりますが画質が良いとはかぎりません。

いろいろなディスクを再生しましょう

基本的な使いかた

メ モ

▼ **再生する前に確認してください。**
電源は入っていますか？(**P.6**)、ディスクは入っていますか？(**P.7**)

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	• ビデオCDでは、再生を開始するとメニュー画面を表示するディスクがあります。メニュー画面の操作については**P.35**をご覧ください。 • ＭＰ３では、ディスク情報の読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。
停止する	■	• CD(R/RW) SACDでは、リジューム機能は働きません。ＭＰ３では、リジューム機能は動作せずに、次回は停止した箇所のあるフォルダーの一曲目から再生を開始します。 • ビデオCDでは、本体の表示窓に**[RESUME]**と表示され、停止したトラックの始めを記憶します。リジューム機能を解除するには、■**ボタン**をもう一度押します。また、ディスクを取り出したり、本機の電源をオフにするとリジューム機能は解除されます。
一時停止する	❚❚	通常の再生に戻すには、一時停止中に►、または❚❚**ボタン**を押します。
頭出しする	❙◄◄ ►►❙	押した回数だけトラックをスキップします。
早送りする	►►	• 早送り中は画面に**[スキャン 1 ►►]**と表示されます。 • ビデオCD SACD CD(R/RW)は、早送りの速さを２段階に切り換えることができます。 • ビデオCD ＭＰ３は、再生中のトラックのみを早送りします。次のトラックまで早送りすると通常の再生に戻ります。 • 早送り中に通常の再生に戻すには、► **ボタン**を押します。
早戻しする	◄◄	• 早戻し中は画面に**[スキャン 1 ◄◄]**と表示されます。 • ビデオCD SACD CD(R/RW) は、早戻しの速さを２段階に切り換えることができます。 • ビデオCD ＭＰ３は、再生中のトラックのみを早戻しします。再生中のトラックの先頭まで早戻しすると通常の再生に戻ります。 • 早戻し中に通常の再生に戻すには、► **ボタン**を押します。
トラックを指定して再生する	0 ～ 9 決定	• 見たい／聞きたいトラックの番号を**数字(0～9)ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押してください。(トラック番号を選択してから２秒以上経過すると自動的に再生を開始します)。 **例)** トラック12を再生するには、**1, 2**を押して**決定ボタン**を押します。 • ＭＰ３では、再生中のフォルダー内のトラックのみを指定して再生することができます。

Q&A

Q1: ビデオCDが再生できない。

→ パソコンで作成されたビデオCDは再生できないことがあります。

Q2: MP3が再生できない。

→ 画面に[**このフォーマットは再生できません**]と表示されていませんか。このときは、下記のような原因が考えられます。

- 記録したディスクがISO9660フォーマットに準拠していない。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されていないMP3ファイルを再生している。

→ ディスクにMP3とJPEGが混在していませんか。[**フォトビューワー**]の設定を変更してください(**P.67**)。

Q3: CD-R/RWが再生できない。

→ パソコンで作成されたCD-R/RWは再生できないことがあります。

Q4: 頭出し(スキップ)ができない。

→ ファイナライズされていない音楽CDフォーマットのCD-R/RWでは頭出し(スキップ)ができません。

Q5: トラックを指定して再生できない。

→ ファイナライズされていない音楽CDフォーマットのCD-R/RWではトラックを指定して再生することができません。

Q6: ラストメモリー機能が動作しない。

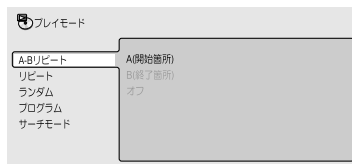
→ ビデオCDでは、ディスクを取り出すと停止したトラックの位置は解除され、ラストメモリー機能は動作しません。

プレイモード画面を表示させましょう

1. プレイモードボタンを押す

プレイモード

- プレイモード画面が表示されます。
- ホームメニュー画面からもプレイモードを選択することができます(**ホームメニューボタン**を押して、ホームメニュー画面を表示します)。
- ビデオCDのPBC再生中はプレイモード画面を表示することができません。PBC再生を解除してください(**P.35**)。
- ファイナライズされていないCD(R/RW)では表示することができません。

2. 項目を選択する

- **A-Bリピート(P.31)**
  再生中のトラック内の指定した範囲を繰り返し再生します(MP3 SACDではA-Bリピート再生を選択することはできません)。
- **リピート(P.31)**
  ディスク、フォルダーまたはトラックを繰り返し再生します。
- **ランダム(P.32)**
  トラックを順不同に再生します。
- **プログラム(P.32)**
  フォルダーやトラックの順番を変えて再生する。
- **サーチモード(P.33)**
  フォルダーまたはトラックを指定して再生する。

3. カーソルを右へ移動する

指定した箇所を繰り返し再生しましょう(A-B リピート再生)

まずは『*プレイモード画面を表示させましょう*』(**P.30**)をご覧になり、**[A-Bリピート]**を選択してください。

1.

再生中に A-B リピートを開始したい箇所で[A(開始箇所)]を選択して、決定する

2.

A-B リピートを終了したい箇所で[B(終了箇所)]を選択して、決定する

A-B リピート再生を開始します。

A-B リピート再生を解除するには･･･

1.

[オフ]を選択して、決定する

A-B リピート再生中に**クリアボタン**を押しても解除することができます。

メ モ

▼ A-Bリピート再生できないディスクがあります。

Q&A

Q: MP3 SACD の A-B リピート再生ができない。

→ MP3 SACD は A-B リピート再生ができません。

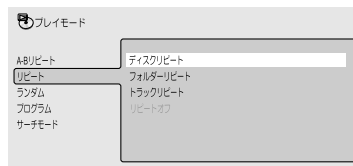
繰り返し再生をしましょう(リピート再生)

まずは『*プレイモード画面を表示させましょう*』(**P.30**)をご覧になり、**[リピート]**を選択してください。

1.

再生中にリピート再生の種類を選択して、決定する

リピート再生を開始します。

例) MP3 のリピート画面

- **ディスクリピート**
  現在再生中のディスクを繰り返し再生します。
- **フォルダーリピート**
  (MP3 のみ)
  現在再生中のフォルダーを繰り返し再生します。
- **トラックリピート**
  現在再生中のトラックを繰り返し再生します。
- **リピートオフ**
  通常の再生に戻ります(リピート再生中に**クリアボタン**を押しても通常の再生に戻すことができます)。

メ モ

▼ ディスクを停止するとリピート再生が解除されます。
▼ リピート再生できないディスクがあります。
▼ リピート再生とランダム再生を同時に行うことはできません。

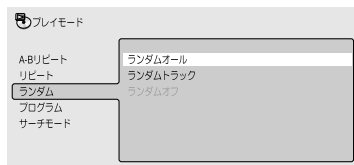
順不同に再生をしましょう（ランダム再生）

まずは『*プレイモード画面を表示させましょう*』(**P.30**)をご覧になり、**[ランダム]**を選択してください。

1.

項目を選択して、決定する

ランダム再生を開始します。

MP3 の場合

- **ランダムオール**
  現在再生中のディスクのトラックを順不同に再生します。
- **ランダムトラック**
  現在再生中のフォルダー内のトラックを順不同に再生します。
- **ランダムオフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

ビデオCD CD(R/RW) の場合

- **オン**
  トラックを順不同に再生します。
- **オフ**
  通常の再生に戻ります(ランダム再生中に**クリアボタン**を押して通常の再生に戻ることもできます)。

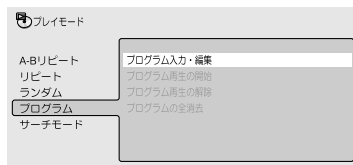
メ モ

▼ ディスクを停止するとランダム再生が解除されます。
▼ ランダム再生できないディスクがあります。
▼ ランダム再生とリピート再生、またはプログラム再生を同時に行うことはできません。
▼ ランダム再生中に ▶▶| を押すと、順不同に次のトラックを選択して再生します。また、|◀◀ を押すと、現在再生中のトラックの始めに戻り再生します。このとき、現在再生中のトラックより前のトラックに戻ることはできません。

順番を変えて再生しましょう（プログラム再生）

まずは『*プレイモード画面を表示させましょう*』(**P.30**)をご覧になり、**[プログラム]**を選択してください。24ステップまでプログラムすることができます。

1.

[プログラム入力・編集]を選択して、決定する

2.

プログラムしたいフォルダー / トラックを選択して、決定する

- ディスクによってプログラム入力・編集画面が異なります。
- MP3 では、フォルダーとトラックを選択します。
- ビデオCD CD(R/RW) では、トラックのみを選択します。
- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

3.

2 を繰り返して他のフォルダー / トラックをプログラムする

P.24の『***ステップの間にプログラムを追加するには･･･***』『***入力中にプログラムを削除するには･･･***』も合わせてご覧ください。

4. ►

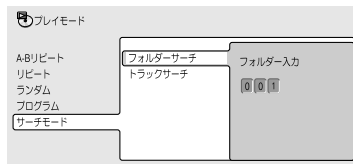
► ボタンを押す

- プログラムした順に再生を開始します。
- **P.25**の『*メ モ*』、および『***プログラム再生を開始/解除/全消去するには･･･***』も合わせてご覧ください。

聴きたい曲を探しましょう(サーチモード)

まずは『*プレイモード画面を表示させましょう*』(**P.30**)をご覧になり、**[サーチモード]**を選択してください。

1. サーチモードの種類を選択して、決定する

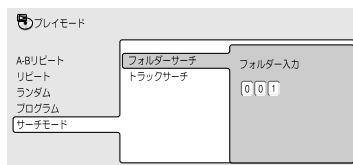
例) MP3 のサーチモード画面

- **フォルダーサーチ(MP3 のみ)**
  フォルダーを指定して再生する。
- **トラックサーチ**
  トラックを指定して再生する。
- **タイムサーチ(ビデオCDのみ)**
  現在再生中のトラック内の時間を指定して再生する。

2. 数字(0～9)ボタンで再生したいフォルダー / トラック、または時間を入力して、決定する

0 ～ 9

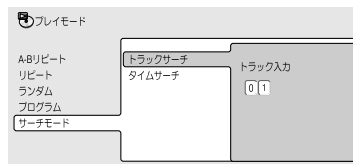
指定したフォルダー、トラック、または時間から再生を開始します。

フォルダーサーチを選択したとき･･･

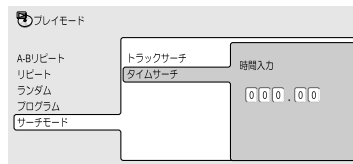
例) MP3 のフォルダーサーチ画面

例)
フォルダー３を再生するには、３を押して、**決定ボタン**を押します。

トラックサーチを選択したとき･･･

例) ビデオCDのトラックサーチ画面

例)
トラック 12 を再生するには、**1, 2** を押して、**決定ボタン**を押します。

タイムサーチを選択したとき･･･

ディスク再生中のみ選択できます。

例) ビデオCDのタイムサーチ画面

例)
- 21 分 43 秒を再生するには、**2, 1, 4, 3** を押して、**決定ボタン**を押します。
- 1時間4分(64分00秒)を再生するには、**6, 4, 0, 0** を押して、**決定ボタン**を押します。

Q&A

Q: タイムサーチができない。
→ MP3 CD(R/RW)ではタイムサーチができません。

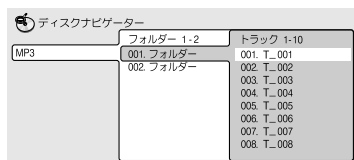
ディスクナビゲーターを使って再生しましょう

1. ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させる

メニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。

2. [ディスクナビゲーター]を選択して、決定する

3. 再生したいフォルダー / トラックを選択して、決定する

例) MP3 のディスクナビゲーター画面

半角英数字以外の名前のフォルダー / トラックでは、フォルダー名が「F_033」、トラック名が「T_035」のように表示されることがあります(MP3のみ)。

Q&A

Q: ディスクナビゲーターが選択できない

→ ビデオCDのPBC再生中はディスクナビゲーターを選択することができません。

ディスクの情報を見ましょう

1. 再生中に画面表示ボタンを押す

画面表示

画面右上の情報は、リピート、ランダム、またはプログラム再生中のみ表示されます。

1回押すと･･･

- ビデオCDでは、現在再生中のディスクの情報が表示されます。
- CD(R/RW) MP3では、現在再生中のトラックの情報が表示されます。

例)MP3のトラックの情報画面

再 生 ►	MP3			フォルダーリピート
	現在/総数	経過時間	残り時間	総時間
トラック	1/17	0:06	3:26	3:32
トラック名	Track1			

2回押すと･･･

- ビデオCDでは、現在再生中のトラックの情報が表示されます。
- CD(R/RW)では、現在再生中のディスクの情報が表示されます。
- MP3では、現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。

例)MP3のフォルダーの情報画面

再 生 ►	MP3	フォルダーリピート
	現在/総数	
フォルダー	1/17	
フォルダー名	Folder1	

3回押すと･･･

表示が消えます。

Q&A

Q: 時間情報などが表示されない。

→ ファイナライズしていない音楽CDフォーマットのCD-R/RWディスクでは一部の時間情報が表示されないことがあります。

→ ビデオCDのPBC再生中は一部の情報が表示されません。

メニュー画面から再生しましょう(PBC 再生) — ビデオ CD のみ

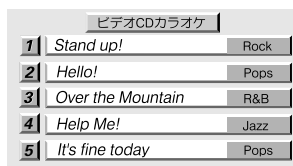
ビデオCDでは、メニュー画面に従って再生することをPBC(プレイバックコントロール)再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドも合わせてご覧ください。

1. PBC 再生対応ディスクを入れ、► ボタンを押す

メニュー画面が表示され、PBC 再生を開始します。

例)

ビデオCDカラオケ

1	*Stand up!*	Rock
2	*Hello!*	Pops
3	*Over the Mountain*	R&B
4	*Help Me!*	Jazz
5	*It's fine today*	Pops

2. 数字(0 ～ 9)ボタンで再生したいトラックを選択して、決定する

0 ～ 9

再生を開始します。

メ モ

▼ 再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

メニュー画面のページをめくる、または戻すには・・・

1. メニュー画面を表示中に |◄◄、または ►►| ボタンを押す

メニュー画面を出さずに再生するには・・・(PBC 再生を解除して再生する)

下記のいずれかの操作で、再生するトラックを選択します。

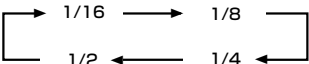
1. 停止中に |◄◄、または ►►| ボタンで選択する

1. 停止中に数字(0 ～ 9)ボタンで選択して、決定する

0 ～ 9

トラックを選択してから、2秒以上経過すると自動的に再生を開始します。

例)

トラック 12 を再生するには、**1, 2** と押して**決定ボタン**を押します。

スロー再生をしましょう — ビデオCDのみ

1.

再生中に II ボタンを押す

一時停止になります。

2. II▶/I▶

II▶/I▶ ボタンを押し続ける

「スロー 1/16 I▶」と表示されます。指を離してもスロー再生を続けます。

通常の再生に戻すには･･･

1.

▶ ボタンを押す。

スロー再生の速さを変えるには･･･

1. II▶/I▶

スロー再生中に II▶/I▶ ボタンを押す。

押すたびに下記のように速さが変わります。

Q&A

Q1: コマ送り / スロー再生中音声が出力されない。

→ コマ送り / スロー再生中は音声が出力されません。

Q2: 逆方向のコマ送り / スロー再生ができない。

→ ビデオCDでは、逆方向のコマ送り / スロー再生ができません。

コマ送り再生をしましょう — ビデオCDのみ

1.

再生中に II ボタンを押す

一時停止になります。

2. II▶/I▶

II▶/I▶ ボタンを押す

押すたびにコマ送りします。

通常の再生に戻すには･･･

1.

▶ ボタンを押す。

音声を切り換えましょう

1. 音声

音声ボタンを押す

押すたびに**ステレオ→1/L(左)→2/R(右)**が切り換わります。

例)

音声　ステレオ

メ モ

▼ カラオケソフトなどで音声を伴奏だけにするには、ディスクのジャケットなどに書かれている音声の種類に合わせて上記の操作をしてください。

映像を拡大して見ましょう（ズーム） — ビデオCDのみ

画面の一部を拡大して見ることができます。詳しくは **P.28** をご参照ください。

JPEG ファイルを再生しましょう

基本的な使いかた

メ モ

▼ **再生する前に確認してください。**
電源は入っていますか？(**P.6**)、ディスクは入っていますか？(**P.7**)、**[フォトビューワー]**が**[オン]**に設定されていますか？(**P.67**)

何をする？	これを押す！	知っておいて！
再生する	►	• ディスク情報を読み込み中に、画面に**[読込中]**と表示されます。表示が消えてから再生してください。 • JPEG 画像が次々と表示されます(スライドショー)。
停止する	■	次回は停止した箇所のあるフォルダーの 1 番目の画像から再生を開始します。
一時停止する	II	通常の再生に戻すには、一時停止中に ►、または **II ボタン**を押します。ファイル読込中は操作できません。
画像を切り換える	I◄◄ ►►I	• スライドショー表示中は、前/次の画像に切り換わります。 • 一覧(フォトブラウザー)表示中は、画像が 9 枚ずつ切り換わります。
画像を指定して再生する	0 〜 9 決定	見たい画像の番号を**数字(0〜9)ボタン**で選択して、**決定ボタン**を押してください(番号を選択してから2秒以上経過すると自動的に再生を開始します)。 **例)** 12 番目の画像を再生するには **1, 2** を押して、**決定ボタン**を押します。

Q&A

Q1: JPEG が再生できない。
→ JPEG がファイナライズされていることを確認してください。
→ 記録したディスクが ISO9660 フォーマットに準拠していない。
→ 総ピクセル数が8Mピクセル以下(縦横の解像度がそれぞれ5120ピクセル以下)のベースライン JPEG ファイルでない(**P.76**)。
→ **[フォトビューワー]**が**[オフ]**に設定されていませんか？(**P.67**)

ディスクナビゲーターを使って再生しましょう

見たいフォルダーやファイルを、テレビ画面から簡単に指定して見ることができます。

1.

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させます

メニューボタンでディスクナビゲーター画面を表示させることもできます。このときは手順3に進んでください。

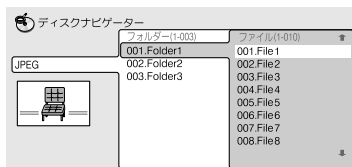
2.

[ディスクナビゲーター]を選んでから、決定ボタンを押します

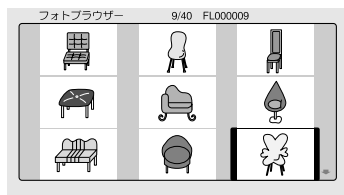
3.

再生したいフォルダーを選択します

半角英数字以外で入力されているフォルダー/ファイルの名前は[F_033]/[FL_035]のように表示されることがあります。

- ファイルにカーソルを合わせると、選択されているファイルの画像が表示されます。一覧(フォトブラウザー)画面を見ない場合は、手順5に進んでください。

4.

フォルダー欄にカーソルを置いた状態で決定して、一覧(フォトブラウザー)画面を表示させます

テレビ画面に９枚の画像が表示されます。

- 一番下の行で ⇩ を押すと９枚目以降の画像が表示されます。
- **⏮ ⏭ ボタン**を押すと画像が９枚ずつ切り換わります。
- ディスクナビゲーター画面に戻りたいときは、**戻るボタン**を押してください。

5.

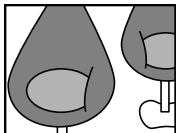
画像を選択して、決定します

スライドショーが始まります。

画像を拡大して見ましょう(ズーム)

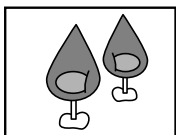
1. ズーム

ズームボタンを押します

1 回押すと･･･

･･･2 倍に拡大！

2 回押すと･･･

･･･4 倍に拡大！

3 回押すと･･･

･･･通常の映像に戻る

2.

⇧⇩⇦⇨ で拡大する場所を移動します

メ モ

▼ JPEG 画像のズーム中はズームエリアが表示されません。
▼ 画像を拡大しているときはスライドショーが一時停止します。通常のスライドショーに戻すには ► **ボタン**を押します。
▼ 次の画像(ファイル)の読み込み中は、本体表示窓に[LOAD]と表示されます。読み込み中に画像を拡大することはできません。

画像を回転させましょう

1. アングル

アングルボタンを押します

押すたびに時計回りに90゜画像が回転します。

メ モ

▼ 画像を回転しているときはスライドショーが一時停止します。通常のスライドショーに戻すには ► **ボタン**を押します。
▼ 次の画像(ファイル)の読み込み中は、本体表示窓に[LOAD]と表示されます。読み込み中に画像を回転することはできません。

ディスクの情報を見ましょう

1. 画面表示

再生中に、画面表示ボタンを押します

1 回押すと･･･
現在再生中のファイルの情報が表示されます。

例)

再 生 ►	JPEG
	現在/総数
ファイル	1/40
ファイル名	File1

2 回押すと･･･
現在再生中のフォルダーの情報が表示されます。

例)

再 生 ►	JPEG
	現在/総数
フォルダー	1/18
フォルダー名	Folder1

3 回押すと･･･
表示が消えます。

メ モ

- ▼ 本機では、フジカラーCD、コダックピクチャーCD、またはCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJPEGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- ▼ スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。
- ▼ ファイルサイズが大きいときは、画像の表示に時間がかかることがあります。
- ▼ JPEGファイルとMP3ファイルが混在しているディスクでは、両方のファイルを同時に再生することはできません。再生するファイルを変更するときは、**[フォトビューワー]**の設定を変更してください(**P.67**)。
- ▼ JPEG 再生時は、プログラム再生、ランダム再生、リピート再生はできません。

音場の設定をしましょう

音声の強弱の幅(ダイナミックレンジ)を調整しましょう(オーディオ DRC)

オーディオDRC(ダイナミックレンジコントロール)を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。例えば、映画の台詞などが聞きづらいときや深夜に映画を見るようなときに変更します。**オーディオ DRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。**

1. **ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させる**

2. **[音場設定]を選択して、決定する**

3. **[オーディオ DRC]の[オン]、または[オフ]を ⇦⇨ で選択して、決定する**

オフ(出荷時の設定)
オーディオ DRC を解除します。高音質のスピーカーで臨場感が得られます。

オン
爆発音などの大音量を抑え、台詞などが聞きやすくなります。

メ モ

▼ オーディオDRCの効果が少ないディスクもあります。

▼ オーディオ DRC はデジタル音声出力端子(光/同軸)から出力される音声にも効果があります。ただし、**[デジタル音声出力]**の**[デジタル出力]**を**[オン]**(**P.54**)に設定して、さらに[DD Digital 出力]を[DD Digital > PCM](**P.55**)に設定してください。

▼ オーディオ DRC の効果は、お使いのスピーカーやテレビ、またはAVアンプの音量設定などによっても変わります。

スピーカーの出力レベルを調整しましょう(チャンネルレベル)

音声出力(5.1ch)端子に AV アンプを接続しているとき(**P.47**)に設定します。

1.

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させる

2. **[音場設定]を選択して、決定する**

3. [チャンネルレベル]の[固定]、または[可変]を ⇦⇨ で選択して、決定する

固定(出荷時の設定)

固定された出力レベルです。

可変

出力レベルを－6.0dB～＋6.0dBまで1.0dBの単位で調整することができます。各スピーカーの出力レベルを調整する画面を ⇩ で表示させます。

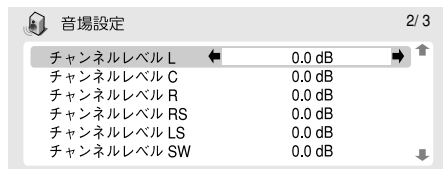
下記の『***[可変]を選択したとき***』をご覧ください。

メ モ

▼ 設定画面ではスピーカーの種類を下記のように表示しています。

L	フロント (左)	RS	サラウンド (右)
C	センター	LS	サラウンド (左)
R	フロント (右)	SW	サブウーファー

[可変]を選択したとき･･･

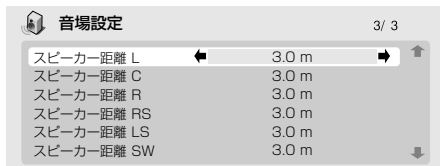
1. ⇧⇩ でスピーカーを選択して、⇦⇨ で出力レベルを調整する

メ モ

▼ **[スピーカー設置]**(**P.71**)で**[オフ]**を選択しているスピーカーの出力レベルを設定することはできません。

▼ **[可変]**で設定できる最大出力レベルは、**[固定]**と同じ6.0dBになります。
そのため、**[可変]**を選択したときは、ほとんどの場合**[固定]**を選択したときよりも出力レベルが小さくなります。

スピーカーの距離を設定するには･･･

1. [チャンネルレベル SW]の位置で ⇩ を押す

[スピーカー距離]の画面が表示されます。

2. ⇧⇩ でスピーカーを選択し、⇦⇨ で距離を設定する

リスニングポジションから各スピーカーまでの距離を0.3m～9.0mまで設定することができます。設定した距離に合わせて、各スピーカーから出力されるディレイタイム(遅延時間)が設定されます。

メ モ

▼ フロント左/右(L/R)は30cmずつ設定可能です。

▼ センター(C)はフロント左/右(L/R)に対して－1.5m～0mまで設定可能です。

▼ サラウンド左/右(LS/RS)はフロント左/右(L/R)に対して－4.5m～0mまで設定可能です。

▼ サブウーファー(SW)の設定はできません。

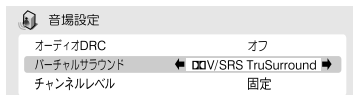
二つのスピーカーで臨場感のある立体音場を再現しましょう(バーチャルサラウンド)

1. ホーム メニュー

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させる

2. **[音場設定]を選択して、決定する**

3.

[バーチャルサラウンド]の[DDV/SRS TruSurround]、または[オフ]を ⇦⇨ で選択して、決定する

オフ(出荷時の設定)
働きません。
DDV/SRS TruSurround
立体音場(サラウンド)になります。

リモコンでバーチャルサラウンドにするには…

1. サラウンド

サラウンドボタンを押して、[DDV/SRS TruSurround]、または[オフ]を選択する

下記のようにテレビ画面に表示されます。

オフを選択しているとき

オフ

⬍

DDV/SRS TruSurroundを選択しているとき

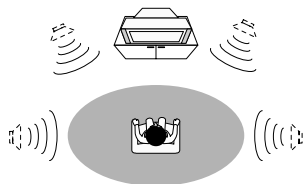
DDV/SRS TruSurround

メ モ

▼ **SRS TruSurround*を使用したバーチャルドルビーデジタルについて**
SRS TruSurroundは、SRS Labs, Inc.が開発した、2つのスピーカーでマルチチャンネルサラウンドを再生する、ドルビーラボラトリーズ社公認のバーチャルサラウンド技術です。Dolby DigitalやPro Logicのマルチチャンネル音場を、前方のステレオスピーカーだけで実現します。

▼ バーチャルサラウンド機能は、DVDオーディオ SACD DTSまたはリニアPCM96kHz音声には効果がありません。

▼ サラウンド効果の少ないディスクもあります。

* *TruSurround、SRSと(●)®記号はSRS Labs,Inc.の商標です。TruSurround技術はSRS Labs,Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。*

画質を調整しましょう

画質を調整してより見やすくしましょう

1.

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させせます

2. **[画質調整]を選んでから、決定ボタンを押します**

3. **[標準]、[メモリー 1]、または[メモリー 2]を選択して、決定します**

画質調整画面が消えます。自動的に画質調整画面が消えたときは設定が無効になります。

標準(出荷時の設定)
ディスクに記録されているそのままの画質です。
メモリー 1/ メモリー 2
お好みで調整した画質設定を記憶させせることができます。手順4に進んでください。

4.

メモリーの内容をかえたいときは、[詳細設定]を選択して決定します

前の設定のまま使用するときは、**[メモリー 1]**、または**[メモリー 2]**を選択して決定します。

5. **⇧⇩ で項目を選択します**

画面表示ボタンを押すと、項目が1行表示になります。押すたびに全画面表示と1行表示が切り換わります。

設定呼び出し
[メモリー 1]、または**[メモリー 2]**に設定されている画質を選択して呼び出します。
コントラスト
最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
ブライトネス
画面の明るさを調整します。
色の濃さ
色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。

6.

各項目のレベルを ⇦ ⇨ で調整します

7. 決定

手順 5～6 を繰り返して、すべての項目を調整して、決定します

- すでに画質設定が記憶されているときは新しく設定した内容が上書きされます。
- 設定終了後は、必ず**決定ボタン**を押してください。設定した内容が記憶されません。

メ モ

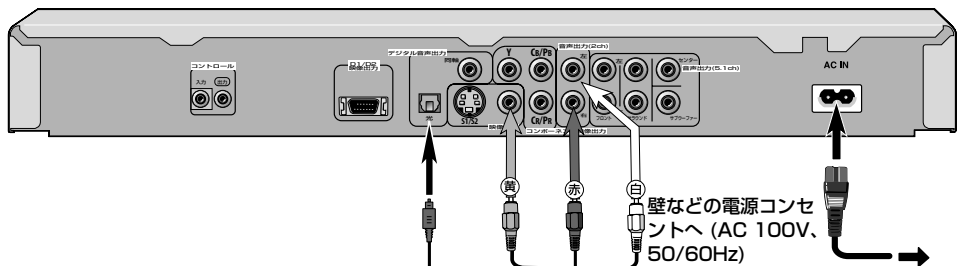
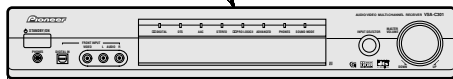
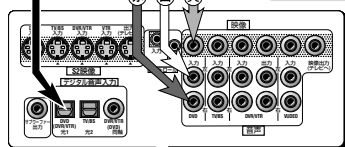
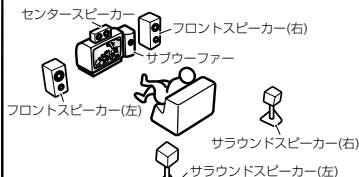
▼ ディスクやテレビ(モニター)によっては効果が分かりづらいことがあります。

こんな接続のしかたもあります

DVDビデオの5.1chサラウンドサウンドを楽しむための接続をしましょう

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

メ モ

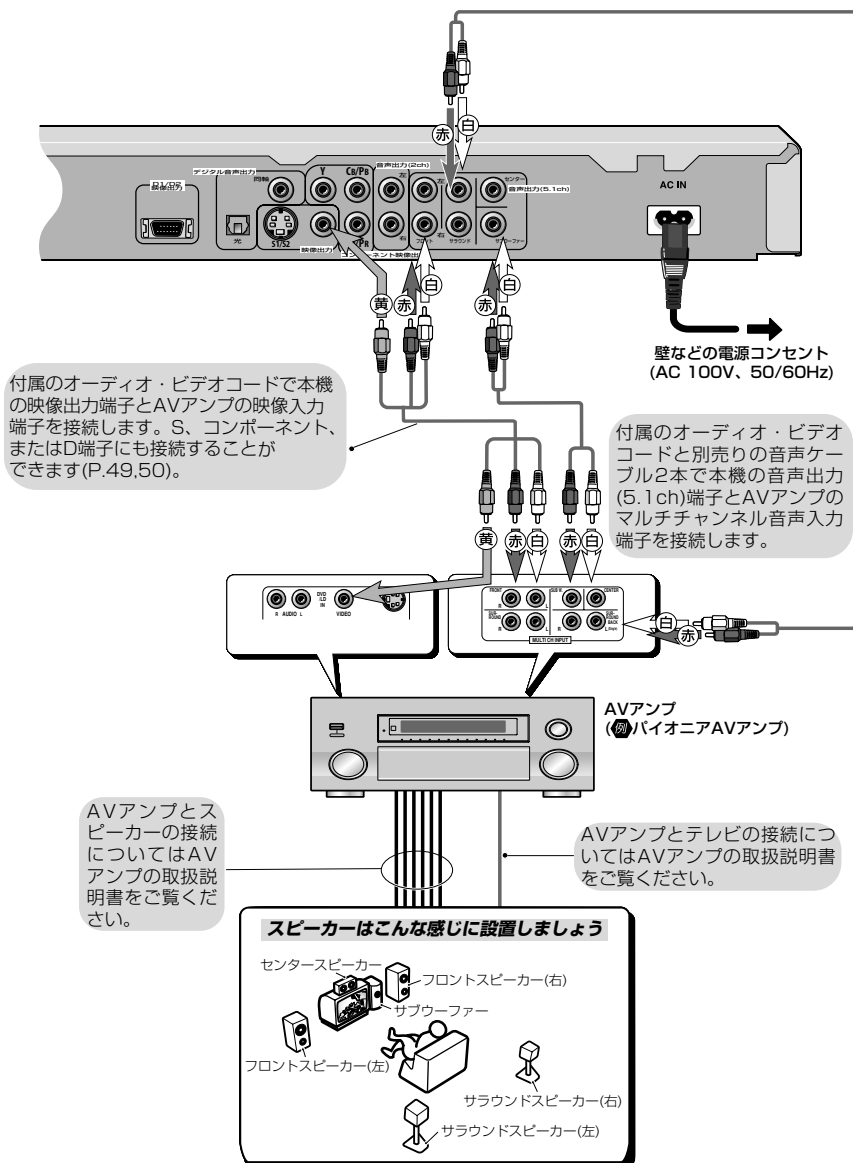
▼ 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむために必要な機器は？
- ドルビーデジタル /DTS などのデジタル入力に対応した AV アンプ、またはデコーダー
- 5ch スピーカー(フロント左右 / センター / サラウンド左右)＋サブウーファー
- 光デジタルケーブル、または同軸デジタルケーブル

Q&A

Q: スピーカーから音が出ない。

→ AVアンプの入力設定が正しく選択されていますか？詳しくは AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

→ **[デジタル出力]**の設定で**[オフ]**を選択していませんか？**[オン]**を選択してください(**P.54**)

DVDオーディオやSACDの5.1chサラウンドサウンドを楽しむための接続をしましょう（5.1chアナログ音声出力端子に接続して5.1chサラウンドを楽しむ）

5.1chアナログ音声出力端子を接続するときは、付属の音声ケーブル(1本)と別売りの音声ケーブル(2本)が必要です。また、**[音声出力モード]**(**P.69**)の設定で**[5.1チャンネル]**を選択してください。

こんな接続のしかたもあります

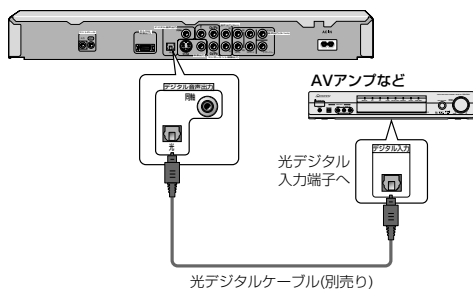
デジタル音声入力端子のある機器と接続できます

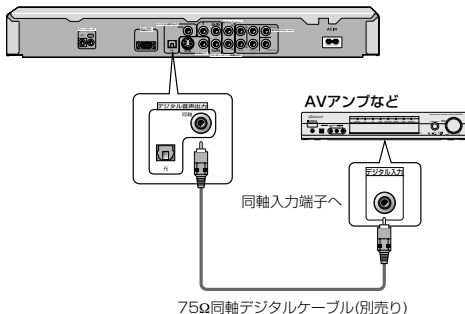
デジタル音声入力端子のあるAVアンプやデジタル録音対応機器(MD、CD-R(CDレコーダー)、DATなど)とデジタル接続することができます。光デジタル端子と同軸デジタル端子に接続する2つの方法があります。

メモ

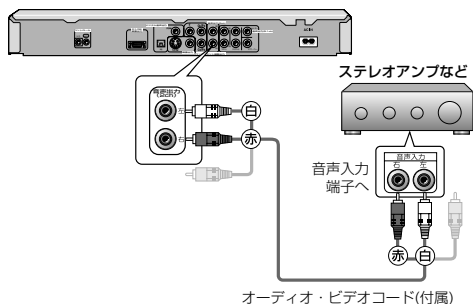
▼ 本機の光端子はシャッター式です。光出力端子に接続するときは、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと端子が変形してケーブルを抜いてもシャッターが閉まらなくなることがあります。

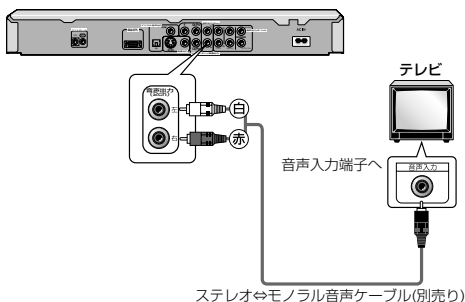
光デジタル音声入力端子のある機器と接続する

別売りの光デジタルケーブルで接続します。

同軸デジタル音声入力端子のある機器と接続する

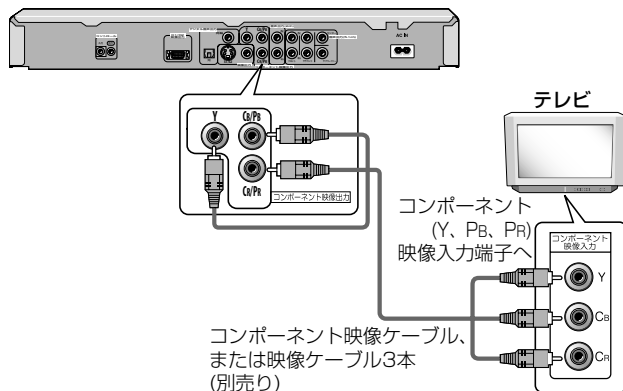
別売りの同軸デジタルケーブルで接続します。

2chアナログ音声入力端子やモノラル音声入力端子のある機器と接続できます

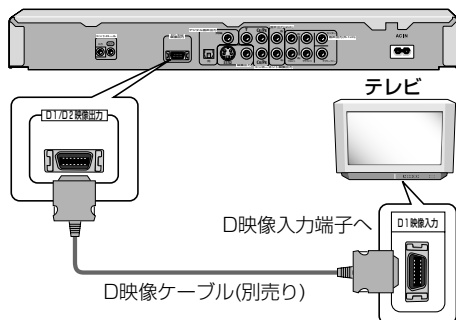
2chアナログ音声入力端子と接続する

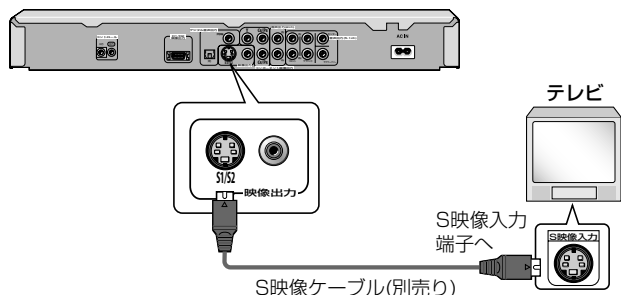
付属のオーディオ･ビデオコードで接続します。

モノラル音声入力端子のあるテレビと接続する

別売りのステレオ⇔モノラル音声ケーブルで接続します。

いろいろな映像入力端子のあるテレビと接続できます

コンポーネント(Y, CB/PB, CR/PR) 映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りのコンポーネント映像ケーブルで接続します。
本機の高品位な映像品質を楽しむときにもっとも適した接続です。

D 映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りのD映像ケーブルで接続します。専用ケーブル1本で、コンポーネント映像ケーブルを使った接続と同様の高品位な映像品質です。本機のD1/D2端子は、接続するテレビのD1、D2、D3、またはD4のいずれの入力端子にも接続することができます。ただし、D1入力端子と接続したときは、インターレース出力のみとなります。

S 映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りのS映像ケーブルで接続します。付属の映像ケーブルを使った接続より、高品位な映像です。初期設定画面で**[S1]**、または**[S2]**を切り換えることができます(**P.59**)。

メ モ

▼ 映像出力端子、またはS1/S2映像出力端子に接続しているときは、映像の出力方式を**[インターレース]**に設定してください。**[プログレッシブ]**に設定していると映像が出ません(**P.58**)。
▼ 本機のS1/S2映像出力1端子にS1/S2映像信号に対応していない機器を接続しているとき、S1/S2映像出力2端子にS1/S2映像信号に対応している機器を接続すると、アスペクト比の自動切換機能が働きません。また、D1/D2端子に対応している機器を接続したときも同様に働きません。

コントロール端子の付いたパイオニア AV アンプなどと接続できます

AV アンプなどの付属のリモコンで本機を操作することができます。市販のミニプラグ付きケーブル(抵抗なし、3.5 φ)で本機のコントロール入力端子と AV アンプなどのコントロール出力端子とを接続します(**P.18**)。

メ モ

▼ システムコントロール接続するときは、市販のミニプラグ付きケーブル以外にデジタル(同軸)ケーブル、アナログ音声ケーブル、または映像ケーブルのいずれかを必ず接続してください。
▼ システムコントロール接続したときは、接続した機器(AVアンプなど)にリモコンを向けて操作してください。本機にリモコンを向けて操作することはできません。
▼ コントロール端子のない機器やパイオニア以外の製品とシステムコントロール接続することはできません。

セットアップナビゲーターで設定しましょう

ここでは本機とAVアンプを接続したときに必要な最低限の設定をします。本機では、セットアップナビゲーターで簡単に設定することができます。

メ モ

よく使うボタン

ホームメニュー画面を表示する。操作/設定の途中で画面をオフにする(**設定は保存されません**)。

項目を選択/変更する。または、カーソルを上下左右に移動する。

項目を決定する。

一つ前の画面に戻る。

セットアップナビゲーターを開始する

1.

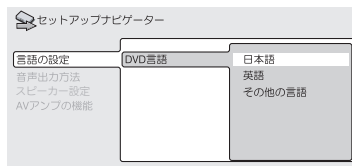
ホームメニューボタンを押してホームメニュー画面を表示させる

2. **[セットアップナビゲーター]を選択して、決定する**

ディスクを再生中にセットアップナビゲーターを選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

DVDに表示される言語を変更しますか？

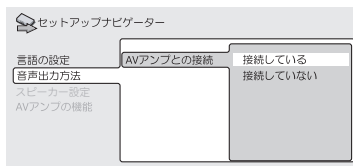
1. **項目を選択して、決定する**

セットアップナビゲーター
言語の設定
音声出力方法
スピーカー設定
AVアンプの機能
DVD言語
日本語
英語
その他の言語

[その他の言語]を選んだときは･･･

136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは**P.60**の『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･***』をご覧ください。

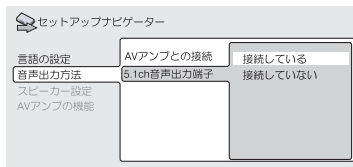
AVアンプに接続していますか？

接続については **P.46-47,50** をご覧ください。

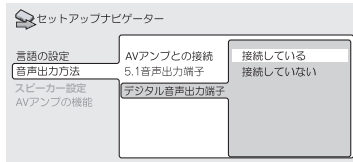
1. 項目を選択して、決定する

- **[接続していない]**を選択したときは「***セットアップナビゲーターを終了しましょう***」に進みます。

音声出力(5.1ch)端子に接続していますか？

音声出力(5.1ch)端子との接続については **P.47** をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

デジタル音声出力端子に接続していますか？

接続については **P.46,48** をご覧ください。

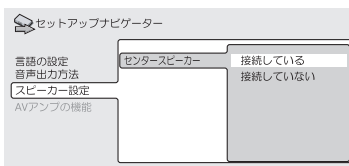
1. 項目を選択して、決定する

[5.1ch音声出力端子]の設定で[接続している]を選択したとき･･･

[接続している]、**[接続していない]**に関わらず、『***センタースピーカーに接続していますか？***』に進みます。

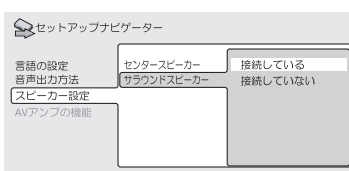
[5.1ch音声出力端子]の設定で[接続していない]を選択したとき･･･

[接続している]を選択したときは『***ドルビーデジタルに対応していますか？***』に進みます。
[接続していない]を選択したときは『***セットアップナビゲーターを終了しましょう***』に進みます。

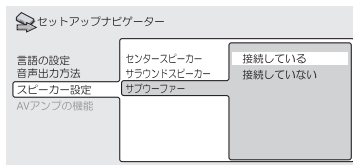
センタースピーカーに接続していますか？

スピーカーとの接続についてはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

サラウンドスピーカーに接続していますか？

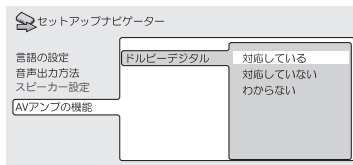
スピーカーとの接続についてはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

サブウーファーに接続していますか？

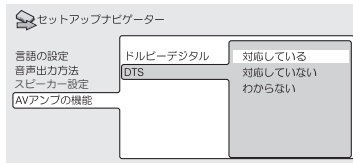
スピーカーとの接続についてはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

[デジタル音声出力の設定]で[接続している]を選択しているときは『***ドルビーデジタルに対応していますか？***』に進みます。
[デジタル音声出力の設定]で[接続していない]を選択しているときは『***セットアップナビゲーターを終了しましょう***』に進みます。

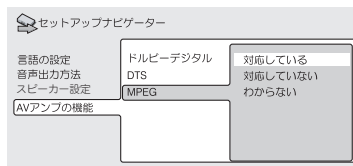
ドルビーデジタルに対応していますか？

AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

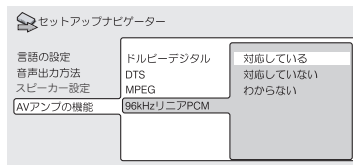
DTS に対応していますか？

AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

MPEG に対応していますか？

AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

96kHz リニア PCM に対応していますか？

AV アンプの取扱説明書をご覧ください。

1. 項目を選択して、決定する

セットアップナビゲーターを終了しましょう

1. 決定する

デジタル音声出力の設定を変更したいとき

デジタル出力端子から音声を出力しますか？

1.

ホームメニューボタンを押して、ホームメニュー画面を表示させる

2.

[初期設定]を選択して、決定する

ディスクを再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3.

[デジタル音声出力]を選択して、カーソルを右へ移動する

初期設定

デジタル音声出力	デジタル出力	オン
映像出力	DDDigital出力	DDDigital
言語	DTS出力	DTS
表示	リニア PCM出力	96kHz > 48kHz
オプション	MPEG出力	MPEG > PCM
スピーカー		

4.

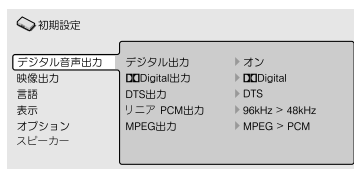
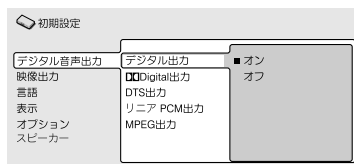
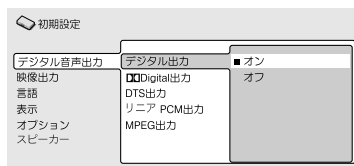
[デジタル出力]を選択して、カーソルを右へ移動する

初期設定

デジタル音声出力	デジタル出力	■ オン
映像出力	DDDigital出力	オフ
言語	DTS出力	
表示	リニア PCM出力	
オプション	MPEG出力	
スピーカー		

5. **[オン]、または[オフ]を選択して、決定する。**

初期設定

デジタル音声出力	デジタル出力	■ オン
映像出力	DDDigital出力	オフ
言語	DTS出力	
表示	リニア PCM出力	
オプション	MPEG出力	
スピーカー		

オン(出荷時の設定)

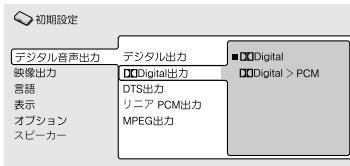
本体後面のデジタル出力端子から音声を出力します。

オフ

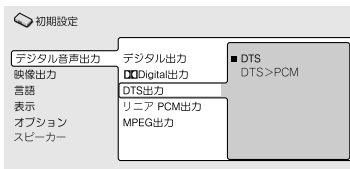
本体後面のデジタル出力端子から音声が出力されません。

メ モ

- ▼ SACD はデジタル出力しません。DVDオーディオはマルチチャンネル音声をダウンミックスしてデジタル出力されます。この場合、デジタル出力できないディスクもあります。
- ▼ DVDオーディオの192/176.4kHzサンプリング音声を再生する場合には、**[デジタル出力]**の設定を**[オフ]**にすることをお勧めします。

接続している AV アンプはドルビーデジタルに対応していますか？

DDDigital(出荷時の設定)
ドルビーデジタル対応アンプ、またはデコーダーと接続したときに選択します。

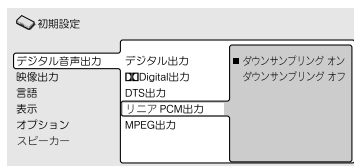
DDDigital > PCM
ドルビーデジタル信号をリニア PCM 信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していないアンプと接続したときに選択します。

接続している AV アンプは DTS に対応していますか？

DTS(出荷時の設定)
DTS対応アンプ、またはデコーダーと接続したときに選択します。

DTS>PCM
DTS信号をリニアPCM信号に変換して出力します。DTSに対応していないアンプと接続したときに選択します。

メ モ

- ▼ DTS に対応していないアンプに接続しているときに**[DTS]**を選択するとノイズが発生することがあります。
- ▼ **[DTS出力]**を**[DTS>PCM]**に設定する場合、DTSマルチチャンネルのダウンミックス方法を選択することできます。（**P.68** の**[DTS ダウンミックス]**の設定項目参照）

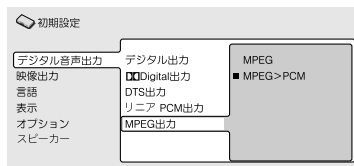
接続しているAVアンプは96kHzに対応していますか？

ダウンサンプリング オン(出荷時の設定)
各系統の音声周波数を48/44.1kHzにダウンサンプリングして出力します。96kHzに対応していないアンプと接続したときに選択します。

ダウンサンプリング オフ
96kHz対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選択します。

メ モ

▼ 著作権保護されている96kHzリニアPCM音声のDVDビデオでは、96kHzの信号が自動的に48kHzに変換されます。このようなDVDを高音質のアナログ音声出力で楽しみたいときは、**[デジタル出力]**を**[オフ]**(**P.54**)に設定して、さらに**[リニアPCM出力]**を**[ダウンサンプリング　オフ]**に設定してください。

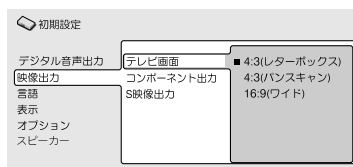
▼ DVDオーディオの192/176.4kHzサンプリング音声のとき、**[ダウンサンプリング　オフ]**を選択していてもデジタル出力は強制的に96/88.2kHzにダウンサンプルされます。また、著作権保護されている場合は、自動的に48/44.1kHzに変換されます。(96/88.2kHzリニアPCM音声を含む)
このようなDVDを高音質のアナログ音声出力で楽しみたいときは、**[デジタル出力]**を**[オフ]**(**P.54**)に設定して,さらに**[リニアPCM出力]**を**[ダウンサンプリング　オフ]**に設定してください。

接続しているAVアンプはMPEGに対応していますか？

MPEG
MPEG対応アンプまたはデコーダーと接続したときに選択します。

MPEG > PCM(出荷時の設定)
MPEG信号をリニアPCM信号に変換して出力します。MPEGに対応していないアンプと接続したときに選択します。

映像出力の設定を変更したいとき

初期設定画面の操作のしかたについては P.54 をご覧ください。

テレビのサイズはワイド(16:9)ですか？従来サイズ(4:3)ですか？

4:3(レターボックス)(出荷時の設定)
従来サイズのテレビと接続して、レターボックス方式(下記)で見たいときに選択します。

4:3(パンスキャン)
従来サイズのテレビと接続して、パンスキャン方式(下記)で見たいときに選択します。**この設定はディスクが対応していないとできません。**

16:9(ワイド)
ワイド(16:9)テレビと接続したとき選択します。

お使いのテレビに合わせた[テレビ画面]の設定は･･･

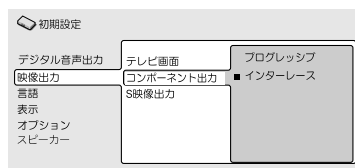
お使いのテレビに合わせて、下記のように本機の**[テレビ画面]**の設定をしてください。

お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像 4:3の映像	16:9(ワイド)	16:9の映像 4:3の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像 4:3の映像		

メ モ

▼ 画面の比率(アスペクト比)の切り換えができないディスクもあります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

映像出力の設定を変更したいとき

映像の出力方式を切り換えますか？

プログレッシブ

きめ細かな映像が得られる高画質モードで、プログレッシブ入力対応のテレビまたはプロジェクターとコンポーネント映像/D映像接続(**P.49**)しているときに設定します。

- **[プログレッシブ]**を選択して決定を押すと確認の画面が出ます。変更を行う場合は、決定ボタンを押してください。変更しない場合は、その他のボタンを押してください。

インターレース(出荷時の設定)

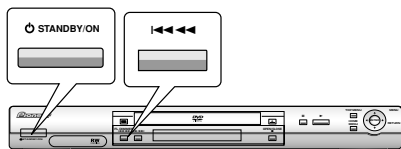
プログレッシブ入力対応でないテレビまたはプロジェクターのときに設定します。

メ モ

▼ **[プログレッシブ]**と**[インターレース]**を切り換えるとき映像が乱れることがあります。

▼ **[プログレッシブ]**と**[インターレース]**を再生中に切り換えることはできません。ディスクを停止させてから切り換えてください。

注 意

◆ 映像出力端子、またはS1/S2映像出力端子にのみ接続しているとき、またはプログレッシブ入力に対応していないテレビとコンポーネント映像/D映像接続(**P.49**)しているときは、**[プログレッシブ]**を選択しないでください。映像が出力されません。選択してしまったときは、以下の方法で**[インターレース]**に切り換えてください。

1. **本機を待機状態(スタンバイ状態)にする**

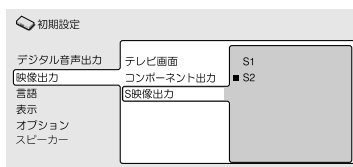
電源が入っているときは、本体の⏻STANDBY/ON ボタン(またはリモコンの⏻**電源ボタン**)を押します。

2. **⏮◀◀ ボタンを押しながら、⏻STANDBY/ON ボタンを押す**

[インターレース]に切り換わり、映像が出力されます。

本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

現在一部のプログレッシブ対応テレビは当プレーヤーと完全な互換が取れていない為、画像に乱れが生じる場合があります。プログレッシブ再生時に不具合が生じた場合は当プレーヤーの出力をインターレースに切り換えてください。また当社のプログレッシブ対応テレビと当プレーヤーとの互換性についてご質問のある場合は、カスタマーサポートセンター(裏表紙)へお問い合わせください。
※当プレーヤーと互換が取れている当社のプログレッシブ対応テレビ(プラズマディスプレイ)
　PDP-503PRO　PDP-503HD　PDP433HD-U　PDP-433HD-S

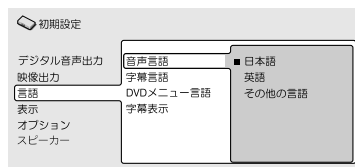
S 映像端子から出力される映像信号を切り換えますか？

S1
S1 映像信号が出力されます(**P.84**)。
S2(出荷時の設定)
S2 映像信号が出力されます(**P.84**)。

注 意

◆ 本機とテレビをS映像端子で接続しているとき、映像を横方向に引き伸ばしてしまうことがあります。このようなときは[S1]を選択してください。

言語の設定を変更したいとき

初期設定画面の操作のしかたについては **P.54** をご覧ください。

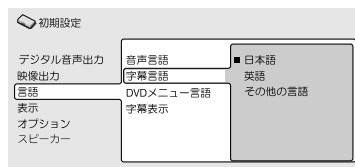
音声言語を変更しますか？

日本語(出荷時の設定)
音声言語が日本語になります。

英語
音声言語が英語になります。

その他の言語
136言語の中から任意の音声を選びます。詳しくは**P.61**の『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語] を選んだときは･･･***』をご覧ください。

メ モ

▼ ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。
▼ ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。

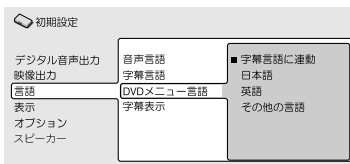
字幕言語を変更しますか？

日本語(出荷時の設定)
日本語の字幕を表示します。

英語
英語の字幕を表示します。

その他の言語
136言語の中から任意の字幕を選びます。詳しくは**P.61**の『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語] を選んだときは･･･***』をご覧ください。

メ モ

▼ ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
▼ ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューを使用して選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。

DVDのメニューに表示する言語を変更しますか？(DVDメニュー言語)

字幕言語に連動(出荷時の設定)
[字幕言語]で選択されている言語でメニュー画面が表示されます。

日本語
日本語でメニュー画面が表示されます。

英語
英語でメニュー画面が表示されます。

その他の言語
136言語の中から任意の言語を選びます。詳しくは下記の『***字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･***』をご覧ください。

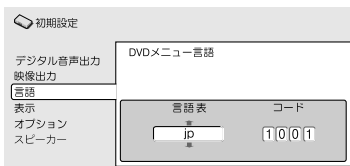
字幕言語/音声言語/DVDメニュー言語の設定で[その他の言語]を選んだときは･･･

P.88の言語コード表を見ながら操作します。DVDに収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。

1. [その他の言語]を選択して、決定する

例）DVDメニュー言語の場合

2. [言語表]、または[コード]を選択して、決定する

言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは言語コード表(**P.88**)をご覧ください。

■[言語表]で言語を選ぶとき

例）フランス語を選ぶ

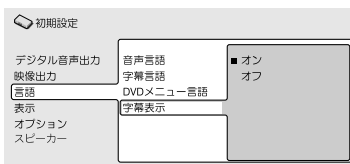
⇧を2回押します。

■[コード]で言語を選ぶとき

下記のいずれかの操作をします。

例）フランス語を選ぶ

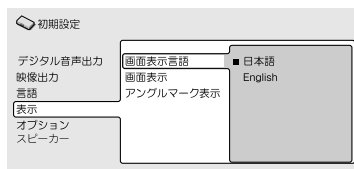
- **数字ボタンの0、6、1、8を押す。**
- **1ケタごとに⇧⇩で数字を選択する(⇦⇨でケタを移動します。)**

字幕を表示しないようにしますか？(字幕表示)

オン(出荷時の設定)
字幕を表示します。

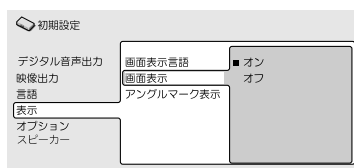
オフ
字幕を表示しません。ただし、DVDビデオの中には強制的に字幕を表示するものがあります。

表示の設定を変更したいとき

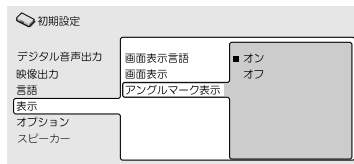
初期設定画面の操作のしかたについては P.54 をご覧ください。

画面に表示される言語を英語にしますか？(画面表示言語)

日本語(出荷時の設定)
画面に表示される言語が日本語になります。

English
画面に表示される言語が英語になります。

画面に操作表示([再生]、[停止]など)をしないようにしますか？(画面表示)

オン(出荷時の設定)
画面に操作表示をします。

オフ
画面に操作表示をしません。

アングルマーク( )を表示しないようにしますか？(アングルマーク表示)

オン(出荷時の設定)
画面にマークを表示します。

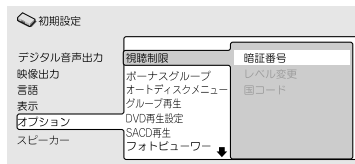
オフ
画面にマークを表示しません。

オプションの設定

視聴制限をしますか？

暴力シーンなどを含むDVDビデオの中には、視聴制限のレベルを設けたものがあります（ディスクのジャケットなどの表示で確認できます）。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。例えば、本機のレベルを6に設定しておくと、レベル7のディスクを再生することはできません。レベル7のディスクを再生するにはあらかじめレベルを7以上に設定しておく必要があります。この視聴制限は国ごとに異なる規制レベルにしたがって働く機能です。国コードをあらかじめ設定しておくと、この「国ごとに異なる規制」が可能になります。

暗証番号を登録するには･･･

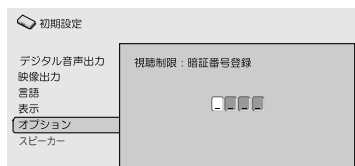
1. [オプション]➡[視聴制限]➡[暗証番号]を選択して、決定する

2. 数字(0～9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定する

0～9

メ モ

▼ 暗証番号はメモしておくことをおすすめします。

▼ 暗証番号を忘れてしまったときは、出荷時の設定に戻して(**P.68**)、再度設定してください。

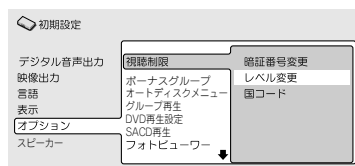
▼ ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。

視聴制限できるDVDを再生するには･･･

視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。

1. 数字(0～9)ボタンで4桁の暗証番号を入力して、決定する

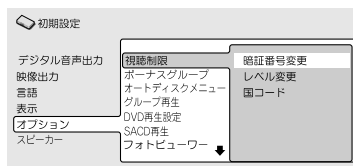
0～9

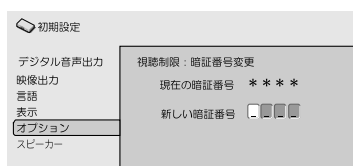
レベルを変更するには・・・

1. [レベル変更]を選択して、決定する

2. 数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定する

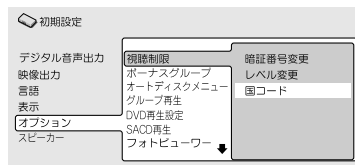
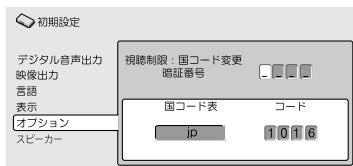
3. レベルを選択して、決定する

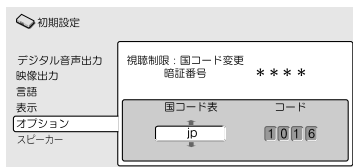
暗証番号を変更するには・・・

1. [暗証番号変更]を選択して、決定する

2. 数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定する

3. 数字(0～9)ボタンで新しい暗証番号を入力する

国コードを変更するには･･･

P.88 の国コード表を見ながら操作します。

1. [国コード]を選択して、決定する

2. 数字(0～9)ボタンですでに登録してある暗証番号を入力して、決定する

3. 数字(0～9)ボタンで[コード]、または⇧⇩で[国コード表]を入力して、決定する

または

■*[国コード表]で変更するとき*

例）日本を選ぶ

⇧⇩で[jp]を選択する。

■*[コード]で変更するとき*

下記のいずれかの操作をします。

例）日本を選ぶ

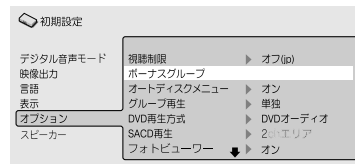
- 数字(0～9)ボタンの1、0、1、6を押す。
- 1ケタごとに⇧⇩で数字を選択する(⇦⇨でケタを移動します)。

メ モ

▼ 国コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

DVDオーディオのボーナスグループを再生しますか？(ボーナスグループ)

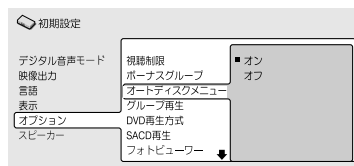
DVDオーディオには、｢ボーナスグループ｣とよばれるグループを持つものがあります。このボーナスグループを再生しようとすると、4桁のキーナンバーの入力を求める画面が表示されますが、この設定であらかじめキーナンバーを入力しておくことができます。

1. [ボーナスグループ]を選択してから、決定ボタンを押します

2. 数字(0～9)ボタンでキーナンバーを入力してから、決定ボタンを押します

0～9

メ モ

▼ ディスクを取り出す、または電源を切ると、入力されたキーナンバーの記憶が消去されます。ボーナスグループを再生するときはもう一度キーナンバーを入力してください。

ディスクをセットした後、自動的にメニュー画面を表示しないようにしますか？（オートディスクメニュー）

オン(お買い上げ時の設定)

ディスクをセットするとメニュー画面が自動的に表示されます。

オフ

ディスクをセットしてもメニュー画面が表示されません。

DVDオーディオのすべてのグループを続けて再生しますか？（グループ再生）

連続

すべてのグループを続けて再生します。

単独 (お買い上げ時の設定)

選択したグループのみ再生します。

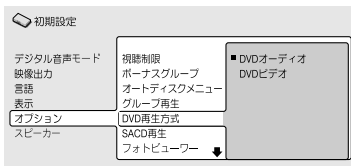
メ モ

▼ ディスクのメニュー画面からも再生したいグループだけを選択することができます。

▼ **[単独]** を選択しているとき、ディスクのメニュー画面からすべてのグループを再生する項目を選択しても、1つのグループのみを再生することがあります。

▼ **[グループ再生]**の設定で**[単独]**を選択しているとき、◀◀ ▶▶ ボタン、または|◀◀ ▶▶|ボタンを使って、他のグループをまたいで早戻し/早送り、または頭出しすることはできません。グループサーチでグループを選択してください**(P.26)**。

▼ **[連続]** を選択していても、ディスクのメニュー画面から再生を始めたときは、すべてのグループを再生することができません。このようなときは、ディスクを停止してから再生を始めてください。

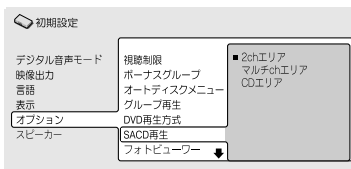
DVD オーディオを DVD ビデオとして再生しますか？(DVD 再生方式)

DVD オーディオ(お買い上げ時の設定)
本機を DVD オーディオプレーヤーとしてお使いになるときに選択します。

DVD ビデオ
本機を DVD ビデオ専用プレーヤーとしてお使いになるときに選択します。

メ モ

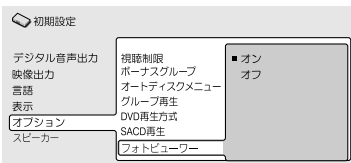
▼ [DVD ビデオ]を選択していても、以下の操作を行うと[DVD オーディオ]に戻ります。
・ 本体の ▲ OPEN/CLOSE ボタンを押す。
・ 電源を切る。

SACDのマルチチャンネルエリアまたはCDエリアを再生しますか？(SACD再生)

SACD は、2チャンネルと5.1 チャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッドSACDは SACD 層と CD 層の 2 層構造になっています。ここでは SACD の再生するエリアを切り換えます。

2ch エリア (お買い上げ時の設定)
2 チャンネルエリアを再生します。

マルチ ch エリア
マルチチャンネルエリアを再生します。

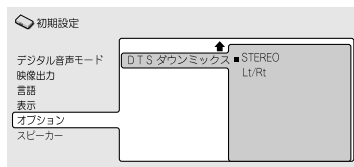
CD エリア
CD 層を再生します。

JPEGファイルを再生しますか？
JPEG 以外のファイル / ディスクを再生しますか？ (フォトビューワー)

オン(出荷時の設定)
JPEG 、フジカラー CD、およびコダックピクチャー CD を再生するときに選択します。

オフ
JPEG 以外のディスクを再生するときに選択します。JPEG ファイルと MP3 ファイルが混在しているディスクの MP3 ファイルを再生するときはこちらを選択します。

メ モ

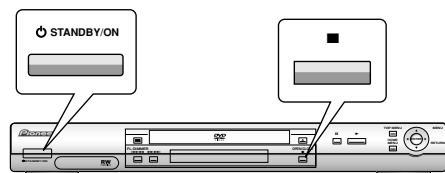
▼ [フォトビューワー]の設定を変更したときは、一度ディスクを取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

DTS ダウンミックスの設定をしますか？

STEREO (出荷時の設定)
DTS のダウンミックス方法をステレオダウンミックスに設定します。通常のステレオ音声でお楽しみ頂けます。

Lt/Rt
DTSのダウンミックス方法をサラウンドダウンミックスに設定します。
ドルビーサラウンドマトリックスと互換性のある音声です。サラウンド対応のアンプ等に接続する事でサラウンド音声をお楽しみ頂けます。

メ モ

▼ **[音声出力モード]**にて**[5.1チャンネル]**が設定されているとき、**[DTS出力]**を**[DTS > PCM]**に設定すると、デジタル出力は**[Lt/Rt]**に固定されます。

設定した内容をすべて出荷時の状態に戻しますか？（初期化）

1. 本機を待機状態(スタンバイ状態)にする

電源が入っているときは、本体の⏻**STANDBY/ON ボタン**(またはリモコンの⏻**電源ボタン**)を押します。

2. ■ボタンを押しながら、⏻STANDBY/ON ボタンを押す

設定した内容がすべて**出荷時の状態**に戻ります。

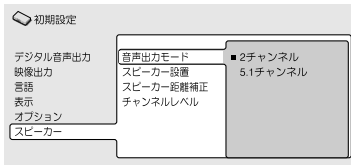
注 意

◆ 初期化すると、記憶していたすべての設定が同時に消去されます。初期化する前は十分にご注意ください。

メ モ

▼ 初期化すると、**P.6** の画面が最初に表示されます。

スピーカーの設定を変更したいとき

音声出力端子(5.1ch)から音声を出力しますか？(音声出力モード)

2 チャンネル(出荷時の設定)
テレビなどのステレオ音声入力端子と本機の音声出力(2ch)端子を接続したときに選択します。

5.1 チャンネル
AV アンプの 5.1 チャンネルアナログ音声入力端子などと本機の音声出力(5.1ch)端子を接続したときに選択します。

メ モ

▼ **[2チャンネル]**を選択しているときは、ドルビーデジタル、DTS、またはMPEGのマルチチャンネル音声は 2 チャンネル音声にダウンミックスして出力されます。

▼ DVDオーディオでは、**[5.1 チャンネル]**を選択しているとデジタル音声が出力されません。

▼ DVDオーディオにはダウンミックスを禁止しているディスクがあります。そのときは、**[2チャンネル]**を選択していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。

▼ **[2チャンネル]**を選択しているときは、DTSマルチチャンネルのダウンミックス方法が選択できます。

Q&A

Q1: デジタル音声が出力できない。(**P.87**)

→ **[デジタル音声出力]**の設定で**[オン]**を選択してください。(**P.54**)
DVDオーディオにはデジタル音声出力できないディスクがあります。
SACDではデジタル音声を出力できません。アナログ音声出力端子(5.1ch、または 2ch)の接続をしてください。

Q2: マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。(**P.87**)

→ DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません(ドルビーデジタル、またはDTS音声はデジタル出力できます)。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、アナログ音声出力端子(5.1ch)の接続をしてください。

Q3: 192/176.4kHz音声がデジタル出力できない。(**P.87**)

→ DVD オーディオの 192/176.4kHz 音声はデジタル出力できません。96/88.2kHz、または48/44.1kHzに変換して出力されます。また、ディスクによってはデジタル出力できないことがあります。

音声出力について

音声の種類		出力モード	音声出力(5.1CH)				デジタル出力	
			フロント左/右	センター	サラウンド左/右	サブウーファー	リニアPCM 変換する	リニアPCM 変換しない
DVD	ドルビーデジタル	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス	ドルビーデジタル
DVD	ドルビーデジタル	2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	2CHダウンミックス	ドルビーデジタル
DVD	ドルビーデジタルカラオケ	5.1CH	フロント左/右	×	×	×	左/右	ドルビーデジタル
DVD	ドルビーデジタルカラオケ	2CH	左/右	×	×	×	左/右	ドルビーデジタル
DVD	リニアPCM (DVDビデオ)	5.1CH	フロント左/右	×	×	×	左/右	左/右
DVD	リニアPCM (DVDビデオ)	2CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
DVD	DVDオーディオ	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	×	×
DVD	DVDオーディオ	2CH	2CHダウンミックス *1	×	×	×	2CHダウンミックス	2CHダウンミックス
DVD	MPEG	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	左/右	MPEG
DVD	MPEG	2CH	左/右	×	×	×	左/右	MPEG
DVD	DTS	5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス	DTS
DVD	DTS	2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	2CHダウンミックス	DTS
DVD	DVD-RW	5.1/2CH	左/右 *3	×	×	×	左/右	ドルビーデジタル MPEG リニアPCM
SACD		5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	×	×
SACD		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	×	×
CD		5.1/2CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
ビデオCD		5.1/2CH	左/右	×	×	×	左/右	左/右
DTS CD		5.1CH	フロント左/右	センター	サラウンド左/右	LFE *2	2CHダウンミックス	DTS
DTS CD		2CH	2CHダウンミックス	×	×	×	2CHダウンミックス	DTS

*1 DVDオーディオでは、ダウンミックスを禁止しているディスクがあります。このときは、**[音声出力モード]**を**[2チャンネル]**に設定していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。

*2 超低域成分

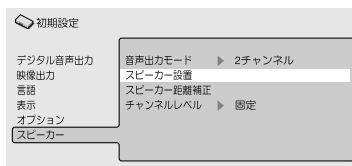
*3 出力モードが5.1chのときは、モノラル素材はセンター出力のみとなります。

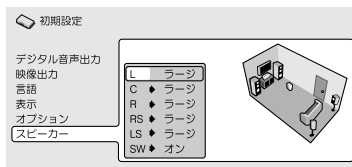
・ 表の　　の部分は音声が出力されません。

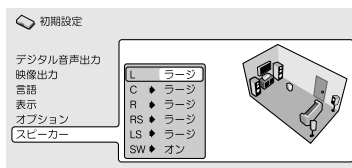
・ ディスクに一部のチャンネルが記録されていないときは、そのチャンネルから音声は出力されません。

各スピーカーのサイズを設定しますか？(スピーカー設置)

1.

[スピーカー]から[スピーカー設置]を選択して、決定する

2.

⇧⇩ でスピーカーを選択して、⇨ でカーソルを右に移動する

3.

⇧⇩ で 大きさ、または接続の有無を選択する

ラージ(出荷時の設定)
大きいスピーカーに接続しているときに選択します(目安としてコーンサイズ 12cm 以上)。

スモール
小さいスピーカーに接続しているときに選択します(目安としてコーンサイズ 12cm 未満)。

オフ
接続していないときに選択します。

オン
サブウーファー(SW)を接続しているときに選択します(SW では[オン]/[オフ]を設定します)。

4.

手順２～３を繰り返して、各スピーカーの設定をする

5.

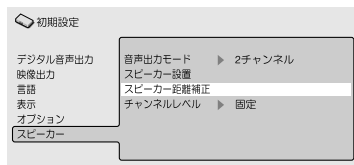
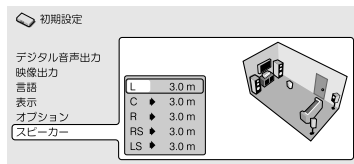
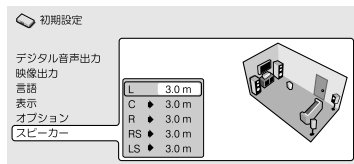
決定する

[スピーカー設置]の画面が消えます。

メ モ

- ▼ SW(サブウーファー)を[オン]に設定しているときは、LFE(超低音の効果音)がサブウーファーから出力します。
- ▼ L(フロント左)/R(フロント右)スピーカーを[スモール]に設定すると、RS(サラウンド右)/LS(サラウンド左)とC(センター)スピーカーの大きさは自動的に[スモール]に設定されます。また、SW(サブウーファー)は[オン]に設定されます。

リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定しますか？(スピーカー距離補正)

1. [スピーカー]から[スピーカー距離補正]を選択して、決定する

2. ⇧⇩ でスピーカーを選択して、⇨ カーソルを右に移動する

3. ⇧⇩ で距離を設定する

設定できる範囲は以下のとおりです。
L：0.3m ～ 9m
R：0.3m ～ 9m
C：L/R の距離から－ 1.5m ～ 0m
LS：L/R の距離から－ 4.5m ～ 0m
RS：L/R の距離から－ 4.5m ～ 0m

4. 手順２～３を繰り返して、各スピーカーの距離を設定する

5. 決定する

[スピーカー距離補正]の画面が消えます。

メ モ

- 5.1チャンネル再生では、スピーカーの距離の設定はすべてのスピーカーは同一サイズ、リスニングポジションから等距離にあることが理想です。それが不可能な場合、各スピーカーにディレイタイム(遅延時間)を設定することで、仮想的に理想の視聴空間を実現します。
- SW(サブウーファー)の距離を調整することはできません。
- DVDビデオ、DVDオーディオにてサンプリング周波数が88K以上の素材を再生中は、[C]は－0.9 m、[LS]と[RS]は－ 2.1 mが距離補正の上限です。

スピーカーの出力レベルを調整しますか？(チャンネルレベル)

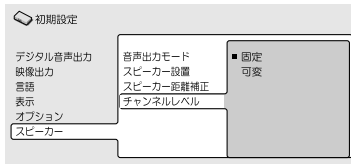
音声出力(5.1ch)端子に AV アンプを接続しているときに設定します。テストトーンを聞きながら各スピーカーの出力レベルを設定することができます。

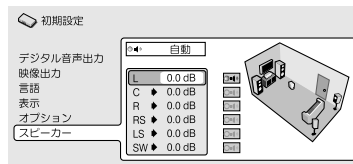
1. [スピーカー]から[チャンネルレベル]を選択して、⇨ でカーソルを右に移動する

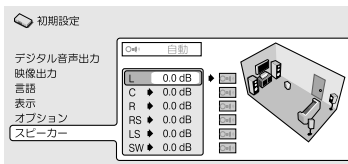
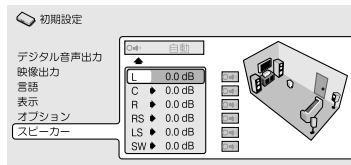
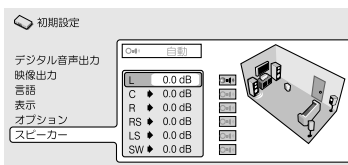
2. ⇧⇩ で[固定]、または[可変]を選択して、決定する

固定(出荷時の設定)
固定された出力レベルです。
可変
出力レベルを 1.0dB の単位で調整することができます(－ 6dB ～＋ 6dB まで)。

※[可変]を選択したときは手順３に進みます。

3. ⇧⇩ でスピーカーを選択する

テストトーンを自動で出力するには･･･

[L]の位置でカーソルを上に移動する。

- 自動的にテストトーンを開始します。
- L→C→R→RS→LSの順で出力されます。
- ⇧⇩ で出力レベルを調整することができます。

テストトーンを手動で出力するには･･･

① ⇨ でカーソルを右へ移動する。

② ⇧⇩ で出力レベルを調整する。
③ ⇨ でカーソルを右へ移動する。
選択しているスピーカーのテストトーンが出力されます。

④ ①～③を繰り返して、他のスピーカーの出力レベルを調整する

4. 決定する

テストトーンを中止するには・・・

1.

カーソルを出力レベル調整の位置に移動する。または、決定する。

[チャンネルレベル]の画面が消えます。

メ モ

- ▼ チャンネルレベルは**[音声出力モード]**の設定(**P.69**)で[5.1 **チャンネル**]を選択しているときのみ効果があります。
- ▼ **[スピーカー設置]**(**P.71**)で**[オフ]**を選択しているスピーカーの出力レベルの設定はできません。
- ▼ **[可変]**で設定できる最大出力レベルは、**[固定]**と同じ6.0dBになります。
  そのため、**[可変]**を選択したときは、ほとんどの場合**[固定]**を選択したときよりも出力レベルが小さくなります。
- ▼ **[音声出力モード]**の設定(**P.71**)で**[2チャンネル]**を選択しているとき、ディスクを再生しているとき、およびディスクテーブルが開いているときはテストトーンは出力されません。
- ▼ SW(サブウーファー)からのテストトーンの出力は、他のチャンネルよりも小さく出力されます。

読んでみてください！～基礎知識～

再生できるディスクについて

- 本機はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

再生できるディスクの種類とマーク	
DVD ビデオ	DVDオーディオ
DVD-R *1	DVD-RW *2
SACD	ビデオ CD
CD / CD-R *3 / CD-RW *3	
F-Disc(エフディスク)	(株)フジカラーサービスのフジテレシネサービスで作成されたディスクです。
フジカラー CD	
このマークは富士写真フイルム(株)の商標です。	
コダックピクチャー CD	

コピーコントロール CD について

当製品は音楽CD企画に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

本機で再生できないディスクの種類

DVD-ROM、DVD-RAM、CD-G、リージョンが「2」「ALL」以外のDVDビデオなど

*1DVD-Rディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマットで記録されたDVD-Rディスクを再生することができます。
- ファイナライズしていないDVD-Rディスクを再生することはできません。

*2DVD-RWディスクの再生について

- 本機はDVDビデオフォーマット、またはVRモードで記録されたDVD-RWディスクを再生することができます。
- 本機は再生専用機です。DVD-RWディスクに録画することはできません。
- ファイナライズしていないＤＶＤビデオフォーマットのDVD-RWディスクを再生することはできません。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。また、DVDビデオフォーマット記録、およびVRモードでの記録については83ページも合わせてご覧ください。
VRモードにて記録できるディスクはDVD-RWだけです。また、VRモードにて記録されたDVD-RWを本機にセットすると「DVD-RW」と表示されます。

*3CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽CDフォーマット、ビデオCDフォーマット、MP3の音楽データ、またはJPEGの静止画像が記録されたCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただしディスクよっては、「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起きることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/CD-RWディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することができます。ただし、一部の時間情報などが正しく表示されないことがあります。

※ 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

MP3の再生について

- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1オーディオレイヤー3のサンプリング周波数32kHz、44.1kHz、または48kHzで記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは**[このフォーマットは再生できません]**と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート(VBR: Variable Bit Rate)には対応していません(再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついたMP3ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション（83ページ）には対応していません。マルチセッションディスクのときは、最初のセッションのみ再生します。
- フォルダー名、トラック名のアルファベット順に、499フォルダー、999トラックまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラックが認識・再生できない場合があります。
- 音質的には、記録ビットレート128kbpsを推奨します。

JPEGの再生について

- JPEGとは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。
- ISO9660レベル1/レベル2のCD-ROMファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機では、フジカラーCD、コダックピクチャーCD、またはCD-R/CD-RW/CD-ROMに記録されているJEPGファイルを再生することができます(記録方法などによって再生できないこともあります)。
- 総ピクセル数が8Mピクセル以下(縦横の解像度がそれぞれ5120ピクセル以下)のベースラインJPEGファイル、およびExif 2.1 *4（83ページ）に準拠したJPEGファイルの静止画再生に対応しています。
- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついたJPEGファイルの静止画像を表示することができます。
- フォルダー名、ファイル名のアルファベット順に、499フォルダー、999ファイルまで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、ファイルが認識・再生できない場合があります。
- ファイルサイズが大きいファイルは画像の再生に時間がかかることがあります。

*4 *デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格(Exif)Ver2.1、JEIDA-49-1998 (社)電子情報技術産業協会 JEITA*

注 意

◆ レコーダー、またはパソコンで記録したDVD-R/DVD-RWディスク、CD-R/CD-RWディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。

◆ パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。

◆ 本機はファイナライズしていない音楽CDフォーマットのCD-R/CD-RWディスクに対応しています。ただし、一部の時間情報が表示されないことがあります。音楽CDフォーマット以外のファイナライズしていないCD-R/CD-RWディスクを再生することはできません。ノイズが発生することがあります。

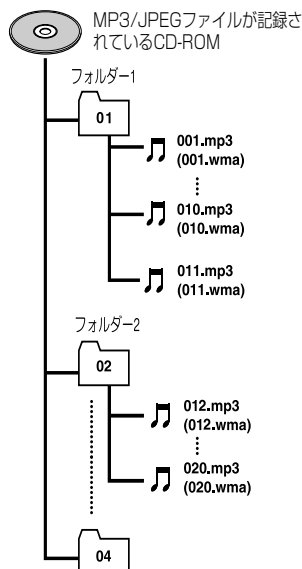
◆ 詳しいCD-R/CD-RWディスクの取扱いについては、ディスクの使用上の注意をご覧ください。

◆ ファイナライズしていないDVD-R/RWディスクを再生することはできません。

タイトルとチャプターについて

DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVDビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
DVDビデオの映画ソフトなどの多くは、1つの映画が1つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように1曲が1タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。

MP3/JPEGについて

MP3のフォルダー/トラックの名前や、JPEGのフォルダー/ファイルの名前を表示することができます(半角英数字で入力された文字のみ)。半角英数字以外で入力されているフォルダー/トラック/ファイルの名前は[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。

DVDオーディオのグループとトラックについて

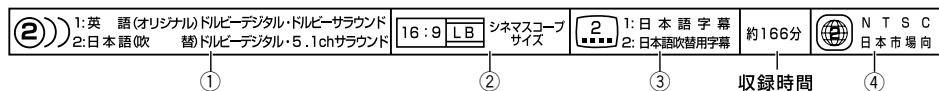
- ディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。DVDビデオのようにメニューや映像などが収録されているディスクもあります。

ビデオCD/SACD/CDのトラックについて

- ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には1曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。

DVDのディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。
ここでは、DVDビデオのディスクジャケットに表記されているおもなマークをご紹介します。

DVDビデオ(DVD-VIDEO)のディスクジャケットの例

① ディスクに記録されている**音声の数と種類・音声トラック方式**を示しています（音声の切り換えは **P.10, 60** をご覧ください）。
上記の場合、テレビにつないでいるときには、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、ドルビーデジタル対応のアンプをデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は5.1chサラウンドで再生されます。

② 再生可能な**テレビ画面サイズや見えかた**を示しています。このディスクの場合、16：9の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されおり、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます(**P.57**)。

③ ディスクに記録されている**字幕の数**と**言語**などの種類を示しています(字幕の切り換えは**P.10, 60**をご覧ください)。
DVDビデオでは最大32種類の字幕を記録することができます。

④ ディスクの**地域番号(リージョンナンバー)**です。
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号(リージョンナンバー)が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機(日本向け)の再生可能地域番号は2番で、ディスクに記載された地域番号が2番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVDビデオでは、最大９つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いたDVDビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます(**P.27**)。

メ モ

▼ DVDビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニアPCM」の３つが現在主流となっています。

ドルビー* デジタルとは. . DOLBY DIGITAL

DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在最も主流となっている5.1chサラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル(5.1chサラウンド)で記録されているソフトとは、5つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことを言います。本機をドルビーデジタル対応のAVアンプなどと接続してこのソフトを再生すると、臨場感あふれるマルチチャンネル再生をお楽しみ頂くことができます。

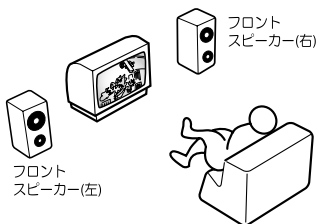
DTS**とは..

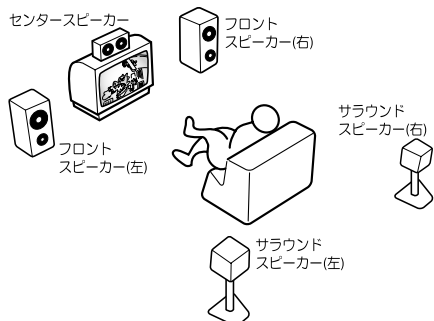
DTSとはデジタルシアターシステム(Digital Theater System)の略で、5.1chのデジタル・サラウンド録音再生方式です。これは最新のサラウンド方式で、DVDビデオのオプション音声タイプとして認められています。本機をDTS対応のAVアンプなどと接続すると、DTSデジタル・サラウンドで記録されたDVDソフトも、ドルビーデジタル(5.1ch サラウンド)で記録されているソフトと同様に5.1chで音声を楽しむことができます。

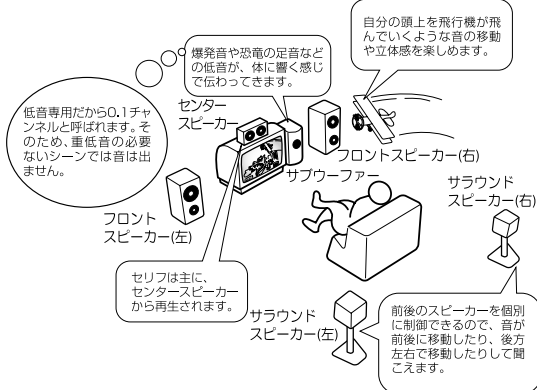
リニアPCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録したDVDビデオの場合によく使われます。48kHz/16bit、96kHzなどの表示があることもあります。

● **ステレオ再生とは..**

左右2つのスピーカーから別々の音声を再生することです。DVDビデオのステレオ音声や通常の音楽用CD(ステレオ2chで録音されています)は、5本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても、音はフロントスピーカーからしか再生されません。

● **ドルビーサラウンド再生とは..**

ソフトのパッケージにドルビーサラウンド(DOLBY SURROUND)と表記されているソフトを、5本のスピーカーで再生することです。ただし、サラウンドスピーカーは左右同じ音(モノラル)で再生されます。

● **ドルビーデジタル5.1chまたはDTSサラウンド再生とは..**

ドルビーデジタル（5.1chサラウンド）またはDTSサラウンドで記録されているソフトを、5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1ch独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。

* *ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。*

** *"DTS"および"DTS Digital Surround"は米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。米国Digital Theater Systems, Inc.からの実施権に基づき製造されています。*

使用上の注意

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに本体の⏻**STANDBY/ON ボタン**(またはリモコン の⏻**電源ボタン**)を押し、表示窓の**[-OFF-]**表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムのそばの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物をのせない

本機の上に物をのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布で空拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭きとった後乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて１～２時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

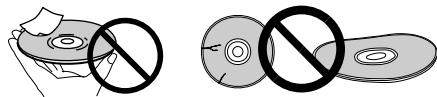
ディスクの取り扱いかた

保管

- かならずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書はかならずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付いたときは、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭きとり、その後乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク(ひびやそりのあるディスク)は使用しないでください。
- ディスクの信号面にキズや汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。ディスクにそりが発生し、再生ができなくなる恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみだしている恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。

特殊な形のディスクについて

本機では、特殊な形のディスク(ハート型や六角形等)は再生できません。故障の原因になりますので、そのようなディスクはご使用にならないでください。

レンズのクリーニングについて

レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、『***保証とアフターサービス***』(**P.92**)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの結露について

冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります(結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

用語解説

アスペクト比
テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは４：３ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16：9の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース(飛び越し走査)
映像の1画面を半分ずつ2回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて１画面(フレーム)を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。通常、解像度の数字の後ろに「i」を付けて(525iなど)表記します。

映像出力(コンポジット)
輝度信号(Y)と色信号(C)を混合して１本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号(Y)と色信号(C)を分離しなければなりません。この輝度信号(Y)と色信号(C)を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

コンポーネント映像出力
Y、CB/PB、CR/PRの３つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限
暴力シーンなどを含むDVDビデオの中には、視聴制限のレベル（大小）が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ
ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル(dB)単位で測定されます。
ダイナミックレンジを圧縮する(オーディオDRC)と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

光デジタル出力
音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です(アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります)。

プレイバックコントロール（PBC）
ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ(順次走査)
映像の１画面を２回に分けずに１画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像がご覧になれます。通常、解像度の数字の後ろに「p」を付けて(525pなど)表記します。

ボーナスグループ
DVDオーディオでは、４桁の番号(キーナンバー)を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。また、前もって本機の初期設定画面でキーナンバーを設定しておくこともできます。

マルチアングル
通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の１つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っていますので、視聴者側で視点(カメラ)を選ぶことはできません。DVDビデオには同時に複数のカメラ

で撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。DVDビデオではアングルを最大9つまで記録することができます。

マルチ音声言語
DVDビデオの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDビデオでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)
映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDビデオでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション
CD-RやCD-RWにデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョンNo. 2 ALL
DVDプレーヤーとDVDビデオディスクは発売地域ごとに地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です(本体後面部に表記されています)。

D端子
デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号(Y、CB/PB、CR/PR)と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続する端子です。

DVDオーディオ/ビデオの静止画
DVDには、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります。DVDオーディオの静止画には2種類あります。
スライドショーは、ディスクの設定にしたがって自動的に静止画が切り換わります。
ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。
また、ブラウザブル静止画では、その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。なお、DVDビデオの静止画はスライドショーのみです。

DVDビデオフォーマット記録
DVD VIDEO、またはDVD VIDEOマークの付いている市販のDVDビデオディスクと同じ方式(フォーマット)でDVD-R/DVD-RWディスクに一筆書きのように記録することをいいます。
パイオニアのDVDレコーダーではこれをビデオモード記録といいます。ビデオモードには、高画質で録画するモードと、長時間で録画するモードがあります。

Exif
Exchangeable Image File Formatの略でエグジフと読みます。富士写真フイルムが開発したデジタルスチルーカメラ用のファイルフォーマットです(JEIDA規格)。撮影日などの撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

F-Disc（エフディスク）
8mmフィルムで撮った映像をDVDディスクに記録したものです。

お問い合わせ先：
(株)　フジカラーサービス
　　コンシューマーフォト部
　　電話：03-5571-5333

GUI
Graphical User Interfaceの略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

JPEG
JPEGとは、ITU-TS(国際電気通信連合: 旧CCITT)とISO(国際標準化機構)で定められた、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式(画像フォーマット)のひとつです。JPEG形式の画像ファイルには「.jpg」という拡張子がつきます。デジタルカメラで撮った写真などもほとんどJPEG形式で保存されています。

MP3
MP3とは、MPEG1オーディオレイヤー３というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.ｍｐ３」という拡張子の付いたファイルをMP3ファイルと呼びます。拡張子とは、OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表わす文字符号です。ピリオドと３文字のアルファベットで構成されています。

MPEG
Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。
DVDビデオの映像やビデオCDの映像／音声は、この方式で記録されています。DVDビデオの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

S1映像出力
S1とは映像のアスペクト比(4:3、16:9)の識別信号の入ったS映像信号です。

S2映像出力
S1に加え画像信号形態(レターボックス、パンスキャン)の識別信号の入ったS映像信号です。S2対応のワイドテレビでは、適切な映像モードに自動的に切り換わります。

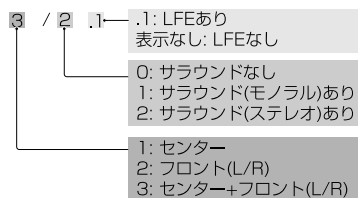
SACD
CDの規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACDには１層ディスク、２層ディスクとハイブリッドディスクの３種類があります。ハイブリッドディスクは、SACDとCDの両方の構造を持ちあわせています。

VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）記録
映像、および音声信号をDVD-RWレコーダーでDVD-RWディスクの不特定な位置に即時書き込み*することをいいます。(*即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク(リムーバブルメディア)に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS)が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)
パイオニアのDVDレコーダーではこれをVRモード記録といいます。VRモードには、標準な画質で録画するモードと画質、および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

3/2.1CH
3/2.1はディスクに記録されているチャンネル数を表わしています。

例）5.1CHの場合
- フロントチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル[(1CH)]
- サラウンドチャンネル[L(1CH)/R(1CH)]
- LFE*1 チャンネル[1CH × 0.1*2 ＝ 0.1CH]

*1: 重低音強調効果の意
*2: 音声全体に対して低音が占める割合

GUI画面には下記のように表示されます。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AV アンプまたはスピーカーなども合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションにお問い合わせください。

症状	原因 / 対策	参照ページ
設定した内容が消えてしまった。	本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の⏻**STANDBY/ON ボタン**、またはリモコンの⏻**電源ボタン**を押して、表示窓の**[-OFF-]**表示が消えてから抜いてください。特に他機器の AC アウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをおすすめします。	
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	**■ ボタン**を押してから、もう一度再生してください。 **■ボタン**を受け付けない場合は本体の⏻**STANDBY/ONボタン**を押して電源を切ってから、再度電源を入れ直して再生してください。本体の⏻**STANDBY/ONボタン**を受け付けない場合は 10 秒以上押し続けると電源が切れます。	
DTS 音声が出力されない。	• 本機とDTS音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは**[DTS出力]**を**[DTS＞PCM]**に設定してください。ノイズが発生することがあります。音声出力端子にアンプを接続したときは入力をアナログに切り換えても音が出ます。 • DTS 音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときはアンプの設定を確認してください。また、デジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	**55** **48**
音が歪んでしまう。 スピーカーから音が出ない。	• 音声ケーブルのプラグが十分差し込まれていますか？ • 接続している音声ケーブルが断線していませんか。 • 音声ケーブルのプラグや本機の音声出力端子、または接続したテレビやAVアンプなどの音声入力端子が汚れていたら拭いてください。 • デジタル接続しているときは**[デジタル出力]**を**[オン]**に設定してください。 • **[デジタル音声出力]**の設定により、音が出ないことがあります。 • ディスクが汚れていませんか？ • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？ • 接続したテレビやAVアンプなどの音量が最小になっていませんか？AVアンプに接続したときは入力切換、およびスピーカーの設定を確認してください。 • アンプの PHONO 端子には接続しないでください。	**5, 46-48** **54** **54-56** **10, 21, 29, 36**

映像が映らない。	• 映像ケーブルのプラグが十分差し込まれていますか? • 接続している映像ケーブルが断線していませんか。 • AV アンプなどに映像出力端子を接続したときは、AV アンプの入力を接続している機器に設定してください(例えば DVD など)。 • 映像出力端子(**P.46-47**)、またはＳ1/S2映像出力端子にのみ接続しているとき(**P.50**)、またはプログレッシブ入力に対応していないテレビとコンポーネント映像/D映像接続(**P.49**)しているときに**[プログレッシブ]**を選択していませんか？映像出力方式を**[プログレッシブ]**から**[インターレース]**に変更してください。	**5, 46, 47, 49,50** **58**
画面が縦または横に伸びている。	• 接続したテレビに合わせて**[テレビ画面]**の設定をしてください。 • 本機とテレビをＳ映像端子で接続しているとき、テレビ側の信号処理により映像が横方向に伸びてしまうことがあります。このときは**[S映像出力]**を**[S1]**に設定してください。	**57** **59**
DVD と CD で音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	
DVD 再生中に画像が乱れる、または暗い。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、テレビによっては画像の一部に横縞が入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	
DVD映像をVTRに録画したり、VTRを通して再生すると再生画面が乱れる。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクをVTRを通して、またはVTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	**5**
本機をビデオ内蔵テレビに接続してDVDを再生すると映像が乱れる。	ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	
テレビなどが誤動作する。	ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
JPEG/MP3 ファイルが再生できない。	**[フォトビューワー]**の設定を確認してください。	**67**
DVD オーディオを再生すると途中で停止してしまう。	違法に複製されたディスクの可能性があります。	

スピーカーからマルチチャンネル音声が出力されない。	• **[音声出力モード]**の設定で**[5.1チャンネル]**を選択してください。 • **[スピーカー設置]**の設定を行ってください。 • ディスクのメニュー、またはリモコンの**音声ボタン**でディスクの音声をマルチチャンネルに切り換えてください。	**69** **71**
デジタル音声が出力できない。	• **[デジタル音声出力]**の設定で**[オン]**を選択してください。 • DVDオーディオにはデジタル音声を出力できないディスクがあります。 • SACDではデジタル音声を出力できません。アナログ音声出力端子(5.1ch、または2ch)の接続をしてください。	**54**
マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。	DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません(ドルビーデジタル、またはDTS音声はデジタル出力できます)。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、アナログ音声出力端子(5.1ch)の接続をしてください。	
192/176.4kHz音声がデジタル出力できない。	DVDオーディオの192/176.4kHz音声はデジタル出力できません。96/88.2kHz、または48/44.1kHzに変換して出力されます。また、ディスクによってはデジタル出力できないことがあります。	
96/88.2kHz音声でデジタル出力できない。	• **[リニアPCM出力]**の設定で**[ダウンサンプリングオン]**が選択されていないか確認してください。 • 著作権保護がされているディスクでは96/88.2kHz音声のデジタル出力が禁止されています。	**56**
勝手に電源が切れる。	ディスクを再生していない(ディスクテーブルが閉まっている状態)で30分以上、本体またはリモコンの操作をしないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります(オートパワーオフ機能)。再度電源を入れてください。	

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。

言語コード表

言語名(言語コード), **入力コード**

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国コード表

国名 , **入力コード , 国コード**

アメリカ, **2119, us**
アルゼンチン, **0118, ar**
イギリス, **0702, gb**
イタリア, **0920, it**
インド, **0914, in**
インドネシア, **0904, id**
オーストラリア, **0121, au**
オーストリア, **0120, at**
オランダ, **1412, nl**
カナダ, **0301, ca**
韓国, **1118, kr**
シンガポール, **1907, sg**
スイス, **0308, ch**
スウェーデン, **1905, se**
スペイン, **0519, es**
タイ, **2008, th**
台湾, **2023, tw**
中国, **0314, cn**
チリ, **0312, cl**
デンマーク, **0411, dk**
ドイツ, **0405, de**
日本, **1016, jp**
ニュージーランド, **1426, nz**
ノルウェー, **1415, no**
パキスタン, **1611, pk**
フィリピン, **1608, ph**
フィンランド, **0609, fi**
ブラジル, **0218, br**
フランス, **0618, fr**
ベルギー, **0205, be**
ポルトガル, **1620, pt**
香港, **0811, hk**
マレーシア, **1325, my**
メキシコ, **1324, mx**
ロシア, **1821, ru**

操作画面一覧

ホームメニュー画面

音場設定

画質調整

初期設定

初期設定

デジタル音声出力
映像出力
言 語
表 示
オプション
スピーカー

項目	設定	参照
画面表示言語	■日本語 English	P.62
画面表示	■オン オフ	P.62
アングルマーク表示	■オン オフ	P.62

初期設定

デジタル音声出力
映像出力
言 語
表 示
オプション
スピーカー

項目	設定	参照
音声出力モード	■2チャンネル 5.1チャンネル	P.69
スピーカー設置		P.71
スピーカー距離補正		P.72
チャンネルレベル	■固定 可変	P.73

本機では、画面表示にNECのフォント「Font Avenue」を使用しています。Font AvenueはNECの登録商標です。

DVDを見る
各部のなまえ
DVDの再生
いろいろなディスクの再生
音場設定
画質調整
接続
セットアップナビゲーター
初期設定
基礎知識
付録

索引

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

わ行

付録

アルファベット

数字

保証とアフターサービス

保証書（別添）
保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談
お買い上げの販売店へご依頼ください。また、ご転居されたりご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、**P.94-95**の修理受付センターにご相談ください。

修理を依頼されるとき
P.85-87 に従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容
- ご住所
  「付近の目印も合わせてお知らせください」
- お名前
- お電話番号
- 製品名　DVD プレーヤー
- 型番　DV-600A
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
  「できるだけ具体的に」「ディスクのタイトル」
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標(建物・公園など)

保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか?
・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
・電源コードにさけめやひび割れがある。
・電気が入ったり切れたりする。
・本体から異常な音、熱、臭いがする。

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、『保証とアフターサービス』をお読みのうえ、修理受付センター(裏表紙)に点検をご依頼ください。

仕様

形式 .... DVD プレーヤー
電源 .... AC 100 V、50/60 Hz
消費電力 .... 11 W
0.09W（待機時）
本体質量 .... 2.4 kg
外形寸法（幅）×（奥行）×（高さ）
.... 420 × 283 × 55mm（突起部含む）
許容動作温度 .... ＋5℃～＋35℃
許容動作湿度 .. 5%～85%（結露のないこと）

S1/S2 映像出力
Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル .... 286 mVp-p（75 Ω）
出力端子 .... S 端子

映像出力
出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... RCA 端子

コンポーネント映像出力（Y、CB/PB、CR/PR）
Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
CB/PB、CR/PR 出力レベル
.... 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... RCA 端子

D1/D2 映像出力（Y、CB/PB、CR/PR）
Y 出力レベル .... 1 Vp-p（75 Ω）
CB/PB、CR/PR 出力レベル
.... 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子 .... D 端子

音声出力(2ch)
音声出力レベル .... 200 mVrms
（1kHz、－ 20dB）
出力端子 .... RCA 端子ステレオ 2 系統
周波数特性 4 Hz～44 kHz(DVD、96 kHz)
S/N 比 .... 118 dB
ダイナミックレンジ .... 108 dB
全高調波歪率 .... 0.0014 %
ワウ・フラッター .... 測定限界以下
（± 0.001%W.PEAK）(JEITA)

音声出力(マルチチャンネル：フロントL/R、サラウンドL/R、センター、サブウーファー)
音声出力レベル .... 200 mVrms（1kHz、－ 20dB）
出力端子 .... RCA 端子

デジタル音声出力
光デジタル出力 .... 光デジタル端子
同軸デジタル出力 .... RCA 端子

その他の端子
コントロール入力 / 出力 ミニジャック(3.5 φ)

付属品
オーディオ・ビデオコード 1
電源コード 1
リモコン 1
単 3 形乾電池（R6P） 2
取扱説明書、保証書 .... 各 1
安全上のご注意 1

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

修理のご相談 / 修理についてのお問い合わせ窓口

パイオニア製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理についてはお買い求めの販売店へご依頼ください。万一お困りの場合は、窓口(裏表紙)へご相談くださるようお願いいたします。

サービスステーションリスト

サービスステーションへの電話は、上記の修理受付センターでお受けします。
(沖縄県の方は沖縄サービスステーションでお受けします)

●サービスステーションの記載内容は、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。
また、認定店は、不在の場合もございますので、持ち込み希望のお客様は、修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区　受付　月～金　9：30～18：00　(土・日・祝・弊社休日は除く)

札幌サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区　受付　月～金　9：30～18：00　(土・日・祝・弊社休日は除く)

仙台サービスステーション	FAX　022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈石田20
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
盛岡サービスステーション	FAX　019-659-3165	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野4-3-34
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目346-1
郡山サービスステーション	FAX　024-939-1372	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25 クレールアヴェニュー伊藤第2ビル

●関東・甲信越地区　受付　月～土　9：30～18：00　(日・祝・弊社休日は除く)

世田谷サービスステーション	FAX　03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
墨田サービスステーション	FAX　03-3621-7610	〒130-0011	墨田区石原4-27-9　中島ICハイツ1F
城北サービスステーション	FAX　03-3550-3625	〒175-0083	板橋区徳丸4-11-14
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F
新潟サービスステーション	FAX　025-241-1879	〒950-0913	新潟市鐙1-5-23
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX　0259-63-3400	〒952-1209	佐渡郡金井町千種1158-1
千葉サービスセンター	FAX　043-207-2555	〒263-0015	千葉市稲毛区作草部1369-1　椎の実ハイツ1F
つくばサービス認定店	FAX　0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
水戸サービス認定店	FAX　029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
埼玉サービスセンター	FAX　048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX　049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX　028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
群馬サービス認定店	FAX　0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
神奈川サービスセンター	FAX　045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX　045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南1-19-17
厚木サービス認定店	FAX　046-224-7724	〒243-0807	厚木市金田339-1　金田コーポフロンテア201
三宅島サービス指定店　勝見電機	TEL　04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービスステーション	FAX　0263-48-2768	〒390-0852	松本市大字島立180-5
長野サービス認定店	FAX　026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX　055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区　受付　月～金　9：30～18：00　(土・日・祝・弊社休日は除く)

名古屋サービスセンター	FAX　052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
津サービス認定店	FAX　059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岡崎サービス認定店	FAX　0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジ　B-1
岐阜サービス認定店	FAX　058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービスステーション	FAX　054-237-5691	〒422-8034	静岡市高松1-6-5
沼津サービス認定店	FAX　0559-21-9050	〒410-0058	沼津市沼北町1-14-26

●中部地区		受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）
浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒435-0042　浜松市篠ヶ瀬町415　ビラモデルナ5号
金沢サービスステーション	FAX　076-291-6425	〒921-8005　金沢市間明町1-130
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211　富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001　福井市大願寺3-5-9

●関西地区		受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）
大阪サービスセンター	FAX　06-6353-1145	〒530-0035　大阪市北区同心2-1-26
大阪南サービス認定店	FAX　0722-75-2625	〒593-8322　堺市津久野町1-8-15　ローズマンション1F
大阪北サービス認定店	FAX　06-6453-5666	〒531-0076　大阪市北区大淀中3-9-4
奈良サービス認定店	FAX　0742-36-8713	〒630-8132　奈良市大森西町21-26
和歌山サービス認定店	FAX　0734-46-3026	〒641-0021　和歌山市和歌浦東3-1-25
京滋サービスステーション	FAX　075-682-7176	〒601-8448　京都市南区西九条豊田町24-1
福知山サービス認定店	FAX　0773-24-5375	〒620-0055　福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション
神戸サービスステーション	FAX　078-251-7173	〒651-0086　神戸市中央区磯上通り5-1-13
姫路サービス認定店	FAX　0792-51-2656	〒671-0224　姫路市別所町佐土4-2

●中国地区		受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）
広島サービスステーション	FAX　082-227-4866	〒730-0013　広島市中区八丁堀2-31　鴻池ビル
徳山サービス認定店	FAX　0834-33-5759	〒745-0006　徳山市花畠町3-11　森広事務所1F
福山サービス認定店	FAX　0849-31-2791	〒720-0815　福山市野上町3-12-9
岡山サービスステーション	FAX　086-244-8748	〒700-0975　岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX　0852-22-7779	〒690-0017　松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
鳥取サービス認定店	FAX　0857-29-1290	〒680-0061　鳥取市立川町5-240-1

●四国地区		受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）
高松サービスステーション	FAX　087-861-4841	〒760-0078　高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX　088-669-6076	〒770-8023　徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX　088-802-3321	〒780-0051　高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX　089-951-6270	〒791-8067　松山市古三津5-10-35　商船ビル1F

●九州地区		受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）
福岡サービスステーション	FAX　092-412-7460	〒812-0016　福岡市博多区博多駅南2-12-3
博多サービス認定店	FAX　092-461-1643	〒812-0006　福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX　095-849-4606	〒852-8145　長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX　096-331-3323	〒862-0918　熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX　097-549-2420	〒870-0889　大分市大石町5丁目1-1
北九州サービスステーション	FAX　093-951-1748	〒802-0011　北九州市小倉北区重住3-1-20
鹿児島サービスステーション	FAX　099-224-7692	〒892-0841　鹿児島市照国町3-21　第二大見ビル2F
宮崎サービス認定店	FAX　0985-27-3136	〒880-0821　宮崎市浮城町98-1

●沖縄地区		受付　月～金　9：30～18：00　（土・日・祝・弊社休日は除く）
沖縄サービスステーション	TEL　098-879-1910	〒901-2122　浦添市勢理客4-18-1　トヨタマイカーセンター3F
	FAX　098-879-1352	

平成15年5月現在

修理窓口・ご相談窓口のご案内

ご購入後の製品の修理・お取り扱いのご相談は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

製品のご購入や取り扱いについてのご相談窓口

● **パイオニア・カスタマーサポートセンター**（全国共通フリーフォン）

受付　月曜～金曜　9：30～17：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

<ご注意>フリーフォンは、PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

家庭用オーディオ／ビジュアル製品のご相談窓口：**0070-800-8181-22**
カタログのご請求窓口：**0070-800-8181-33**
ファックス：**03-3490-5718**

パイオニアホームページでのご案内
お問い合わせ先のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/*
カタログ請求とメールサービス登録のご案内　*http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg/index.html*

部品のご購入についてのご相談窓口

付属品（リモコン・取扱説明書など）のご購入や、補修用性能部品（修理使用部品）に関するご相談についてはパイオニア部品受注センターにご相談ください。部品の交換方法などの技術相談につきましては下記のパイオニア修理受付センターにご相談ください。

● **パイオニア部品受注センター**

受付　月曜～金曜　9：30～18：00、土曜　9：30～12：00、13：00～17：00（日曜・祝日・弊社休日は除く）

<ご注意>フリーダイアルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

電話（フリーダイアル）：**0120-5-81095**
一般電話：**0538-43-1161**
ファックス（フリーダイアル）：**0120-5-81096**

修理のご依頼／修理についてのご相談窓口

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のある時は、必ず電源プラグを抜いてから、ご購入店へご連絡ください。
ご購入店がわからないときやお近くにないときは、パイオニア修理受付センターへご相談ください。（沖縄県を除く）

● **パイオニア修理受付センター**（沖縄県を除く全国）

受付　月曜～金曜　9：30～20：00、土曜　9：30～12：00、13：00～18：00（弊社休日は除く）
日曜・祝日　9：30～12：00、13：00～18：00（プラズマテレビのみ受付）

<ご注意>フリーダイアルは、携帯電話、PHSではご利用になれません。あらかじめご了承ください。

電話（フリーダイアル）：**0120-5-81028**（ゴー パイオニア）
一般電話：**03-5496-2023**
ファックス（フリーダイアル）：**0120-5-81029**

● **沖縄サービスステーション**（沖縄県のみ）

受付　月曜～金曜　9：30～18：00（土曜・日曜・祝日・弊社休日は除く）

一般電話：**098-879-1910**
ファックス：**098-879-1352**

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<VRA1230-A>